

取扱説明書

IHクッキングヒーター

CS 7612 FL



お客様の安全を確保し機器の損傷を避けるため、設置前やご使用になる前に **必ず** 本取扱説明書をお読みください。

目次

安全上のご注意	5
サステナビリティと環境保護	13
製品を知る	14
本製品(IHクッキングヒーター)	14
コントロールパネル	15
調理ゾーン	16
電力管理	17
操作の原則	18
機能	19
鍋の常時検知	19
鍋/鍋サイズの検知	19
PowerFlex調理領域	19
本製品(IHクッキングヒーター)の火力レベルBooster機能	19
Stop & Go	19
自動加熱	19
タイマー	19
システムロック	19
セーフティロック	19
直前設定の復帰	20
保温	20
ワイププロテクション	20
プログラミング	20
デモモード	20
余熱表示	20
組み合わせオプション	20
安全のためのスイッチオフ	21
過熱防止機能	22
本製品(IHクッキングヒーター)のデータ	22
初めてお使いになる前に	23
本製品(IHクッキングヒーター)を開梱する	23
本製品(IHクッキングヒーター)を初めて清掃する	23
本製品(IHクッキングヒーター)を初めてオンにする	23
操作	24
操作に関する安全上の注意	24
本製品(IHクッキングヒーター)をオンにする	25
本製品(IHクッキングヒーター)/調理ゾーンをオフにする	25
調理器具の位置を決める	26

火力レベル	27
火力レベルを設定する	27
火力レベルを設定する - 拡張設定範囲	27
火力レベルを変更する	27
PowerFlex調理ゾーンを手動でリンク/リンク解除する	27
Booster	28
Boosterを有効にする	28
Boosterを無効にする	28
Stop & Goを有効/無効にする	28
自動加熱	29
自動加熱を有効にする	29
自動加熱を無効にする	29
タイマー	30
タイマー時間を設定する	30
キッチンタイマーを設定する	30
キッチンタイマーの時間を変更する	30
キッチンタイマーの時間を削除する	30
スイッチオフ時間を設定する	31
スイッチオフ時間を変更する	31
スイッチオフ時間を削除する	31
複数のスイッチオフ時間を設定する	31
スイッチオフ時間を表示する	31
両方のタイマー機能を同時に使用する	31
システムロック	32
システムロックを有効にする	32
システムロックを無効にする	32
セーフティロック	32
セーフティロックを有効にする	32
セーフティロックを無効にする	32
直前設定の復帰機能を有効にする	33
保温	33
保温機能を有効/無効にする	33
食品を保温するコツ	33
ワイブプロテクション	33
ワイブプロテクションを有効にする	33
ワイブプロテクションを無効にする	33
本製品(Hクッキングヒーター)のデータ	34
型式番号/製造番号を表示する	34
ソフトウェアバージョンを表示する	34
デモモードを有効/無効にする	34
火力レベル設定範囲	35

目次

知っておくと便利な情報	36
本製品(IHクッキングヒーター)の仕組み.....	36
使用中の音.....	36
鍋.....	37
設定を調整する	38
清掃とお手入れ	41
清掃とお手入れに関する安全上の注意.....	41
セラミックガラス表面を清掃する.....	42
不適切な洗剤.....	42
トラブルシューティング	43
ディスプレイのメッセージ.....	43
予期しない動作.....	44
期待通りの結果にならない.....	45
一般的な問題または技術的な障害.....	46
アフターサービス、型式表示シール	47
故障の際の連絡先.....	47
型式表示シール.....	47
保証条件と保証期間.....	47
別売アクセサリ	48
設置	49
設置に関する安全上の注意.....	49
カウンター表面設置の場合の追加の安全上のご注意.....	50
フラッシュ設置の場合の追加の安全上のご注意.....	51
安全な離隔距離.....	52
カウンター表面設置用のワークトップ開口.....	60
カウンター表面設置（未発売製品の寸法も記載されています）.....	61
フラッシュ設置の場合のワークトップ開口.....	62
フラッシュ設置（未発売製品の寸法も記載されています）.....	63
カウンター表面設置の場合のバー型スパーサー.....	64
フラッシュ設置の場合のバー型スパーサー.....	64
カウンター表面設置の場合の設置寸法.....	65
フラッシュ設置の場合の設置寸法.....	66
本製品(IHクッキングヒーター)をカウンター表面設置する.....	67
カウンター表面設置のためのワークトップを準備する.....	67
カウンター表面設置の本製品(IHクッキングヒーター)を挿入する.....	68
本製品(IHクッキングヒーター)をフラッシュ設置する.....	69
フラッシュ設置のためのワークトップを準備する.....	69
フラッシュ設置の本製品(IHクッキングヒーター)を挿入する.....	71
電源接続.....	72

安全上のご注意

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例



禁止（してはいけないこと）

具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。



強制（必ずすること）

具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。



注意（警告を含む）

具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 禁止行為	 潜在的な危険・警告・注意
 分解禁止	 感電注意
 水場、湿気の多い場所での使用禁止	 機器に損害を与える可能性のある場合
 接触禁止	 発火注意
 強制／指示	 高温注意
 電源接続に関する注意	 破裂注意
 必ずアース線を接続	

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切なご使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

安全上のご注意



警告

本製品 (IHクッキングヒーター) は、すべての安全要件に適合しています。ただし、正しくお使いにならないければ、人的損害または物的損害を招く危険性があります。

本製品 (IHクッキングヒーター) を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書には、安全、設置、使用、お手入れに関する重要な情報が記載されています。これにより、人体への危害および本製品 (IHクッキングヒーター) の損傷を防ぐことができます。

ミーレはこれらの指示に従わないことにより生じる被害や損害や損傷の製造者責任は負いません。

この取扱説明書を安全な場所に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。



警告

正しい用途

-  本製品 (IHクッキングヒーター) は、家庭およびそれに類似する環境で使用することを目的としています。
-  本製品 (IHクッキングヒーター) は、屋外での使用を想定していません。
-  本製品 (IHクッキングヒーター) は、家庭用で食品を調理・保温することを目的としています。その他の用途での使用は認められていません。
-   本製品 (IHクッキングヒーター) を身体的、感覚的、精神的に介護を要する方、または操作経験のない方、操作方法を理解していない方がご使用になる場合は、安全にお使いになれるよう周囲の方が操作中に十分配慮し、操作に伴う危険について説明するようにしてください。本製品 (IHクッキングヒーター) は、安全な使用方法がしっかりと説明されている場合に限り、監督者がいなくても使用することができます。誤った使用方法による危険性を認識し、理解していることが必要です。



警告

お子様の安全



8歳未満のお子様は、目を離さず、本製品(IHクッキングヒーター)に近づかないよう注意してください。



8歳以上のお子様は、本製品(IHクッキングヒーター)の安全な使用方法を指導されている場合に限り、監督者なしで本製品(IHクッキングヒーター)を使用することができます。お子様は誤った使用による危険性を認識し、理解していることが必要です。



お子様に1人で本製品(IHクッキングヒーター)の清掃をさせないでください。



本製品(IHクッキングヒーター)の近くではお子様からは目を離さないでください。絶対にお子様に本製品(IHクッキングヒーター)で遊ばせないでください。



本製品(IHクッキングヒーター)は、使用中高温になり、電源を切った後もしばらくは高温の状態が続きます。本製品(IHクッキングヒーター)が冷めてやけどの危険がなくなるまで、お子様を近づけないでください。



やけどのおそれがあります。本製品(IHクッキングヒーター)の上や後方の収納場所に、お子様が興味を持つような物を保管しないでください。お子様が本製品(IHクッキングヒーター)に登ろうとするおそれがあります。



やけどの恐れがあります。鍋やフライパンを調理ゾーンに置く際には、お子様が引っ張ってやけどをすることのないように、配置を考えてください。



窒息の危険あり！お子様が遊んでいる最中に梱包材(ビニールのラップなど)に巻き込まれてしまったり、頭からかぶったりすると、窒息する恐れがあります。梱包材をお子様に近づけないでください。



システムロックを有効にして、お子様が監督者なしで本製品(IHクッキングヒーター)をオンにできないようにしてください。本製品(IHクッキングヒーター)の使用中はセーフティロックをオンにして、お子様が設定を変更することのないようにしてください。

安全上のご注意



警告

技術的安全性



不適切な設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じる恐れがあります。設置、メンテナンス、修理は、ミーレの認定技術者のみが行えます。



本製品(IHクッキングヒーター)に損傷があると、安全性が損なわれるおそれがあります。本製品(IHクッキングヒーター)の外観に損傷がないか確認してください。損傷がある場合は、本製品(IHクッキングヒーター)を使用しないでください。



本製品(IHクッキングヒーター)の電気的な安全性は、正しく接地されたときのみ保証できます。この基本的な安全要件を満たすことが重要です。不明な場合は、資格のある電気技術者に家庭内の電気配線の検査を依頼してください。



本製品(IHクッキングヒーター)への損傷のおそれを防ぐため、本製品(IHクッキングヒーター)の型式表示シールに記載されている仕様データ(定格消費電力、電圧、周波数)が主電源と一致している必要があります。

本製品の電源プラグをコンセントに差し込む前に、このデータを比較してください。不明な場合は、資格を有する電気技術者にご相談ください。



延長コードやマルチソケットを使用したたこ足配線は本製品の安全性を保証できません(火災のおそれ)。したがって、本製品(IHクッキングヒーター)をそのような電源に接続しないでください。



安全上の理由から本製品(IHクッキングヒーター)はビルトイン設置された後のみ使用できます。



本製品(IHクッキングヒーター)は、静止していない場所(船舶など)では設置・操作しないでください。



配線への接触や、本製品(IHクッキングヒーター)の電気部品・機械部品の改造はきわめて危険であり、機器の故障につながるおそれがあります。



いかなる状況においても、本製品(IHクッキングヒーター)の筐体を開けようとしてしないでください。



本製品(IHクッキングヒーター)の修理をミーレ認定のサービス技術者以外の人物が行った場合、メーカー保証は無効になります。



ミーレが機器の安全性を保障できるのは、ミーレの純正交換部品が使用されている場合のみです。障害のあるコンポーネントを交換する際には、必ずミーレのスペアパーツを使用してください。



本製品(IHクッキングヒーター)は、外付けのタイマースイッチや遠隔制御システムとの使用を想定していません。



電源コードが損傷している場合は、資格のある電気技術者が専用の電源コードに交換する必要があります(「設置」-「電源接続」照)。



設置、メンテナンス、修理作業中は、本製品(IHクッキングヒーター)を電源から完全に遮断する必要があります。電源供給から完全に遮断するため、以下を実行してください。

- ブレーカーを落とします。
- コンセントから電源プラグを引き抜きます。その際に、電源コードではなく、電源プラグを持って引き抜きます。

 感電のおそれ。

 本製品(IHクッキングヒーター)が損傷している場合、または使用中に破損した場合は使用しないでください。電源をすぐにオフにしてください。コンセントから本製品(IHクッキングヒーター)の電源プラグを引き抜いてください。カスタマーサービスまでご連絡ください。

 本製品(IHクッキングヒーター)が家具の面材(扉など)の後ろに設置されている場合、本製品(IHクッキングヒーター)の使用中に扉を閉めないでください。熱と湿気が閉じた面材の後ろにこもるおそれがあります。これにより、本製品(IHクッキングヒーター)、収納キャビネット、床面が損傷が生じるおそれがあります。余熱表示が消えるまで、扉を閉じないでください。

安全上のご注意



警告

正しい使用方法

-  本製品(IHクッキングヒーター)は使用中高温になり、オフにした後もしばらく高温の状態が続きます。余熱表示が消えるまで、やけどのおそれがあります。
-  油脂は過熱されると火災を引き起こすおそれがあります。油脂を使用した調理をする際は、本製品(IHクッキングヒーター)のそばを離れないでください。油脂の火は、水で消そうとしないでください。本製品(IHクッキングヒーター)をオフにします。
鍋のふた、防火毛布などをかぶせて慎重に火を消してください。
-  使用中は本製品(IHクッキングヒーター)のそばを離れないでください。煮たり、焼き上げている間は、目を離さないでください。
-  炎はレンジフードのグリースフィルターに引火するおそれがあります。レンジフードの下でフランベをしないでください。
-  スプレー缶、エアゾール、その他の可燃性物質は、加熱されると発火することがあります。このような物や物質を、本製品(IHクッキングヒーター)の下の引き出しに保管しないでください。本製品の下の引き出しは耐熱性である必要があります。
-  空のフライパンを加熱しないでください。
-  密閉された缶の中で食品を保存したり再加熱したりすると、圧力が上昇し、爆発するおそれがあります。本製品(IHクッキングヒーター)は、缶詰の食品の保存や再加熱には使用しないでください。



本製品(IHクッキングヒーター)を覆われていると、機器の余熱が残っている場合や誤ってオンにした場合、覆っているものの素材が発火や爆発を起こしたり、溶けたりするおそれがあります。本製品(IHクッキングヒーター)をカバー、布、保護ホイルなどで覆わないでください。



注意



意図的または誤って本製品(IHクッキングヒーター)の電源を入れたり、または余熱がある場合、本製品(IHクッキングヒーター)の上に金属類が残っていると加熱されるおそれがあります。材質によっては、溶けたり燃えたりすることがあります。本製品(IHクッキングヒーター)を他のものを置く台として使用しないでください。使用後は本製品(IHクッキングヒーター)をオフにしてください。



本製品(IHクッキングヒーター)が熱いとやけどをするおそれがあります。本製品(IHクッキングヒーター)を使用する際は、耐熱の鍋つかみまたは手袋で手を保護してください。鍋つかみや手袋が濡れないようにしてください。湿った素材や濡れた素材は熱が伝わるのが早まり、かえってやけどのおそれが高くなります。



ハンドミキサーなどの電気器具を本製品(IHクッキングヒーター)の近くで使用する場合、その電源コードが高温の本製品(IHクッキングヒーター)に接触しないようにしてください。電源コードの絶縁体を損傷する可能性があります。



塩、砂糖、砂(野菜を洗った時にでるものなど)が鍋底の下に入ると、傷がつくおそれがあります。鍋を置く前に、セラミック面がきれいなことを確認してください。

安全上のご注意

-  軽い物でも、場合によっては損傷を引き起こすおそれがあります。セラミック面に物を落とさないでください。

-  熱い鍋をセンサーや表示ランプの上に置くと、下の電子基盤が損傷するおそれがあります。熱い鍋をセンサーや表示ランプの上に置かないでください。

-  固形または液体の砂糖、プラスチック片、アルミホイルなどは、冷えるとセラミックの表面を損傷する可能性があるため、本製品(IHクッキングヒーター)が高温のときに付着させないでください。付着してしまった場合は、本製品(IHクッキングヒーター)をオフにし、まだ熱いうちに、ガラスに適したシールド付きスクレーパーを使用して、砂糖、プラスチック、アルミニウムなどの残留物をすべてこすり落としてください。その際は耐熱の手袋を着用してください。セラミックの表面を冷ましてから、適切なセラミックガラス洗浄剤で清掃してください。



-  鍋を空焚きさせないでください。セラミックガラスや鍋が損傷するおそれがあります。使用中は本製品(IHクッキングヒーター)のそばを離れないでください。

-  底が滑らかな鍋やフライパンのみを使用してください。鍋の底面が荒いと、セラミックガラスに傷がつきます。

-  本製品では鍋を持ち上げるようにしてください。鍋を引きずると、引きずった跡がついたり、傷がついたりします。

-  IHは非常に速く鍋が加熱されるので、鍋の底の温度が短時間で加熱し、油や脂肪が発火するおそれがあります。使用中は本製品(IHクッキングヒーター)のそばを離れないでください。

-  油や脂肪の加熱は最長1分にとどめてください。油や脂肪の加熱にはBoosterモードを使用しないでください。

-  心臓ペースメーカーをご使用の方は、以下をお読みください：本製品(IHクッキングヒーター)をオンにすると、その近辺は電磁性を帯びますのでご注意ください。ペースメーカーへの影響についてご不明な点がある場合は、ペースメーカーの製造元または担当医にご相談ください。
 本製品(IHクッキングヒーター)をオンにすると、磁場の影響を受けやすいものの機能を損なう可能性があります。本製品(IHクッキングヒーター)がオンのときに、クレジットカード、記憶媒体、小型電卓などをすぐそばに放置しないでください。
 本製品(IHクッキングヒーター)を長時間集中的に使用すると、本製品(IHクッキングヒーター)の下の引き出しに収納されている金属類が高温になる可能性があります。本製品(IHクッキングヒーター)のすぐ下の引き出しには、金属類を収納しないでください。
 本製品(IHクッキングヒーター)には冷却ファンが付いています。ビルトインされた本製品(IHクッキングヒーター)のすぐ下に引き出しを設置する場合、本製品(IHクッキングヒーター)の換気を確保するため、引き出しおよびその中身と、本製品(IHクッキングヒーター)の下側との間に十分なスペースを確保してください。
 本製品(IHクッキングヒーター)のすぐ下に引き出しがある場合は、先のとがったもの、小さな物、紙、ナプキンなどを収納しないでください。換気スロットに入り込んだり、ファンによって本体に吸い込まれたりして、ファンが損傷したり換気の妨げになったりするおそれがあります。

安全上のご注意

調理ゾーン、拡張ゾーン、またはパワーフレックスゾーンで鍋を2つ同時に使用しないでください。

 調理器具が調理ゾーン/ 拡張ゾーンの一部にしか乗っていない場合、持ち手が非常に熱くなる恐れがあります。

調理器具は必ず調理ゾーン/ 拡張ゾーンの中央に置いてください！

 調理器具用IHアダプタープレートを使用すると、IHジェネレーターが破損または破壊される可能性があります。IHアダプタープレートは使用しないでください。



注意

お手入れ

-  スチームクリーナーから出る蒸気は、通電している電気部品に到達してショートを引き起こす可能性があります。本製品(IHクッキングヒーター)の清掃には、絶対にスチームクリーナーを使用しないでください。
-  本製品(IHクッキングヒーター)が熱洗浄機能付きのオープンの上に設置されている場合、熱洗浄中は本製品(IHクッキングヒーター)を使用しないでください。本製品(IHクッキングヒーター)の過熱防止機能が作動する可能性があります（「製品を知る」 - 「過熱防止機能」参照）。
Mieleは、本製品(IHクッキングヒーター)の製造終了後も、最低10年および最長15年、機能的なスペアパーツの供給を保証します。

調理時の省エネのヒント

- できる限りフタをした鍋で調理します。これにより、熱が不必要に逃げるのを防ぐことができます。
- できるだけ少量の水で調理します。
- 食品が沸騰してくるか、フライパンの中の油が揚げられるぐらいまで熱になったら、火力レベルを下げます。
- 圧力鍋を使用すると調理時間を短縮することができます。

梱包材の廃棄処分

梱包材は輸送の損傷から保護するものです。梱包材には、廃棄する際に環境への影響が少なく、基本的にリサイクル可能な材料を使用しています。

梱包材をリサイクルすることで、製造工程での原材料使用量を削減することができます。貴重な材料のために材料ごとの回収を利用し、返却されることをお勧めします。ご希望に応じて、Miele販売店が梱包材を持ち帰ります。

使用済み機器の廃棄処分

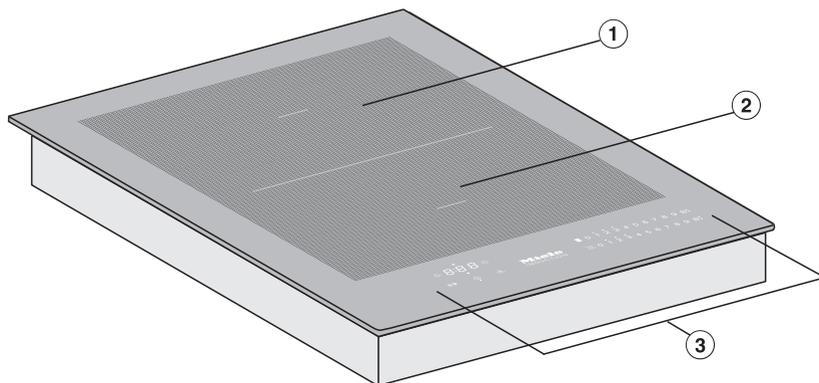
電気・電子機器には、多くの貴重な素材が含まれています。また、製品が正しく安全に動作するために不可欠な特定の物質、化合物、部品も含まれています。これらは家庭ごみとして廃棄したり不適切な取り扱いをしたりすると、人の健康や環境に害を及ぼす可能性があります。したがって、使用済み機器は家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。



その代わりに、お住まいの地域で電気・電子機器を廃棄・リサイクルするために、公式に指定された回収・廃棄場所、販売店、またはMieleを無料でご利用ください。法律により、廃棄前に使用済み機器からの個人データの削除などは、お客様の責任で行ってください。機器に固定されていない使用済みのバッテリーは取り外し、ランプを破壊せずに取り外すことが可能な場合、取り外すことが法的に義務付けられています。これらは、無料で引き渡せる適切な回収場所に持って行く必要があります。廃棄のために保管されている間、使用済み機器がお子様へ危険を及ぼさないようご注意ください。

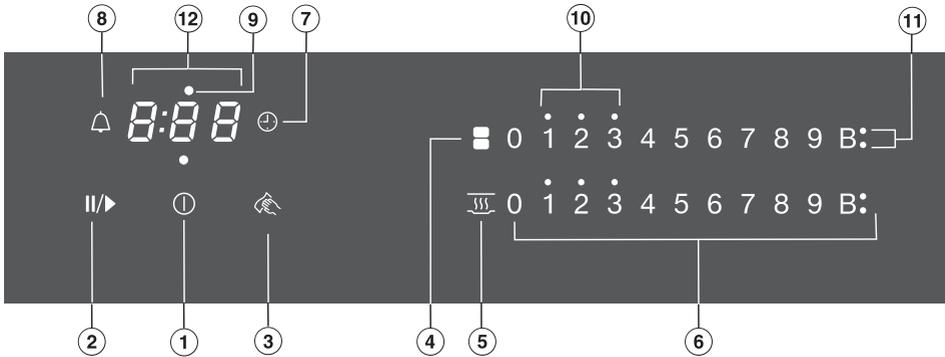
製品を知る

本製品(IHクッキングヒーター)



- ① PowerFlex 調理ゾーン (TwinBooster 付き)
 - ② と組み合わせて PowerFlex 調理領域にすることが可能
- ② PowerFlex 調理ゾーン (TwinBooster 付き)
- ③ 操作パネルと表示ランプ

コントロールパネル



- ① 本製品(IHクッキングヒーター)のオン/オフ センサーコントロール
- ② Stop & Go センサーコントロール
進行中の調理プロセスを停止/開始する
- ③ ワイププロテクション センサーコントロール
センサーコントロールをロックする
- ④ PowerFlex調理ゾーン センサーコントロール
PowerFlex調理ゾーンを手動で組み合わせる/解除する
- ⑤ 保温 センサーコントロール
保温機能を有効/無効にする
- ⑥ 数字キーパッド センサーコントロール
- 火力レベルを設定する
- 時間を設定する
- ⑦ 自動スイッチオフ センサーコントロール
調理ゾーンを自動でスイッチオフする
- ⑧ キッチンタイマー センサーコントロール
- ⑨ 調理ゾーン割り当ての自動オフ 表示ランプ
調理ゾーンの自動スイッチオフが有効
- ⑩ 余熱表示
- ⑪ Booster表示
Booster機能が有効
- ⑫ タイマー表示部

0:00 ~ 9:59 時間

LOC システムロック/セーフティロックが有効

dE デモモードが有効

製品を知る

調理ゾーン

調理ゾーン	サイズ cm ¹		200 Vの最大消費電力 (W) ²	
	Ø			
①	15-23	15 x 15	標準	1450
		-	TwinBooster レベル 1	2600
		23 x 19	TwinBooster レベル 2	3000
②	15-23	15 x 15	標準	1450
		-	TwinBooster レベル 1	2600
		23 x 19	TwinBooster レベル 2	3000
① + ②	22-23	22 x 22	標準	1800
		-	TwinBooster レベル 1	2600
		23 x 39	TwinBooster レベル 2	3000
			合計	3000

¹ 記載されている範囲内の底径/底面サイズ(幅 × 奥行)の調理器具が使用できます。

² 記載されているワット数は、使用する調理器具の大きさや材質によって異なります。

電力管理

総電力

安全上の理由から、本製品(IHクッキングヒーター)の最大総許容電力消費量を超えることはできません。

本製品(IHクッキングヒーター)の総許容電力消費量が高いほど、すべての調理ゾーンで同時に使用できる火力レベル/機能が増えます。

設定した火力レベル/機能が、総許容電力消費量以上の電力を必要とする場合、本製品(IHクッキングヒーター)は最大許容電力消費量を調理ゾーン間で配分します。

電力の配分

本製品(IHクッキングヒーター)の2つの調理ゾーンはリンクしています。これにより、電力を1つの調理ゾーン(A)から別の調理ゾーン(B)に移行させることができます。その結果、調理ゾーン(A)の電力は低下します。

例：調理ゾーン(B)のBooster機能を有効にしました。

追加の電力を必要とする調理ゾーン(B)は、本製品(IHクッキングヒーター)の最新の設定によって決定されます。

最大総許容電力消費量は、「製品を知る」 - 「調理ゾーン」で確認できます。

電力配分の影響

1つの調理ゾーンが他のゾーンに電力を譲った場合、譲った方のゾーンに以下のようなことが起こり得ます：

- 火力レベルが低下する。
- 自動加熱が無効になる。調理が設定された火力で続行される。電力が不足している場合、火力レベルが再び低下する。
- Booster機能が無効になる。
- 調理ゾーンがオフになる。

調理ゾーンは、他のゾーンへの電力移行が止まると、再び火力レベルを上げられるようになります。

ヒント：1つの調理ゾーンで大量の食品を調理する場合は、他の調理ゾーンをより低い火力レベルに替えてください。

製品を知る

操作の原則

本製品(IHクッキングヒーター)がオフ

本製品(IHクッキングヒーター)がオフの状態では、印字されたオン/オフ①センサーコントロールのアイコンのみが見えます。本製品(IHクッキングヒーター)をオンにすると他のセンサーコントロールが点灯します。

操作

本製品(IHクッキングヒーター)は、指の接触に反応するセンサーコントロールを備えています。

センサーコントロールが作動するたびに音が鳴ります。

安全上の理由から、機器のスイッチを入れるには、オン/オフ①センサーコントロールを他のセンサーよりも少し長くタッチする必要があります。

機能

鍋の常時検知

調理器具を調理ゾーンに置くと、その調理ゾーンの数字キーパッドが自動的に有効になります。

鍋/鍋サイズの検知

調理器具とその大きさは、調理ゾーン内で検出されます。エネルギーの放出が調理器具の大きさに合わせて調整されます。

PowerFlex調理領域

PowerFlex調理領域は、2つのPowerFlex調理ゾーンを組み合わせ、より大きな調理器具の使用を可能にします。

PowerFlex調理ゾーンにまたがる十分な大きさの調理器具を置くと、PowerFlex調理ゾーンが自動的に組み合わせられてPowerFlex調理領域が形成されます（「製品を知る」 - 「調理ゾーン」参照）。PowerFlex調理ゾーンは手動でリンクさせることもできます。

本製品(IHクッキングヒーター)の火力レベルBooster機能

Booster機能を有効にすると、火力が上げられ大量の液体や食品を短時間で加熱することができます（例：パスタを茹でるためのお湯を沸かす場合）。

Stop & Go

Stop & Goを有効にすると、すべての火力レベルが1まで低下します。無効にすると、最後に設定された火力レベルに戻ります。

ヒント: 煮こぼれのおそれがある場合にこの機能をお使いください。

自動加熱

自動加熱が有効の場合、調理ゾーンは最も高い設定で自動的にオンになり、その後、あらかじめ選択した火力レベル（継続調理設定）に切り替わります。

タイマー

タイマーは、次の2つの機能に使用できます。

- キッチンタイマーの設定
- 調理ゾーンの自動スイッチオフ機能

これらの機能は同時に使用できます。

キッチンタイマー

本製品(IHクッキングヒーター)とは関係のない作業のためにキッチンタイマーをセットすることができます。

自動スイッチオフ

調理ゾーンが自動的にオフになるまでの時間を設定できます。この機能はすべての調理ゾーンで同時に使用することができます。

システムロック

システムロックが有効の場合、本製品(IHクッキングヒーター)をオンにすることはできません。

セーフティロック

セーフティロックは本製品(IHクッキングヒーター)をオンにすると作動します。セーフティロックが作動すると、本製品(IHクッキングヒーター)は特定の条件でしか操作できません。

製品を知る

直前設定の復帰

使用中に本製品(IHクッキングヒーター)の電源を誤ってオフにしてしまった場合、この機能を使ってすべての設定を元に戻すことができます。本製品(IHクッキングヒーター)は、オフになってから10秒以内に再びオンにする必要があります。

保温

この機能により、調理終了後の食品を保温することができます。

食品の保温時間は最大2時間です。

ワイブプロテクション

例えば汚れを拭き取りたいときなどに、本製品(IHクッキングヒーター)のセンサーコントロールを20秒間ロックすることができます。

①センサーコントロールはロックされません。

プログラミング

必要に応じて本製品(IHクッキングヒーター)のプログラミングを変更できます。

デモモード

この機能により、本製品(IHクッキングヒーター)を加熱することなくショールームで実演することができます。

余熱表示

調理ゾーンがまだ熱い場合、調理ゾーンをオフした後に余熱表示が点灯します。温度に応じて、火力レベル1、2、3の上に点が表示されます。

余熱表示の点は、調理ゾーンが冷めるにつれて1つずつ消えていきます。調理ゾーンが安全に触れる温度まで下がったら、最後の点が消えます。

組み合わせオプション

本製品(IHクッキングヒーター)は、他のSmarLine機器や特定のクッキングヒーターと組み合わせて設置することができます。

本製品と組み合わせ可能なクッキングヒーターについては、Mieleのウェブサイトをご覧ください。

安全のためのスイッチオフ

センサーコントロールが覆われている

1つまたは複数のセンサーコントロールが10秒以上覆われた場合、例えば指が触れていたり、煮こぼれや異物で覆われた場合に、本製品(IHクッキングヒーター)は自動的にオフになります。[センサーコントロールの上で①が短く点滅し、音が鳴ります。物を除去するか機器をきれいにすると、[が消えて本製品(IHクッキングヒーター)が再び使用できる状態になります。

長時間の稼働

調理ゾーンが異常に長時間加熱されると、安全のためのスイッチオフ機能が自動的に作動します。作動までの時間は、選択した火力レベルによって異なります。時間が超過すると、調理ゾーンがオフになり、余熱表示が点灯します。調理ゾーンのオフにし再びオンすると、再び操作可能になります。

安全のためのスイッチオフ機能は、設定を変更することで調整できます（「設定を調整する」参照）。

火力レベル*	最大稼働時間 [時:分]		
	安全レベル		
	0**	1	2
1	10:00	8:00	5:00
1.	10:00	7:00	4:00
2/2.	5:00	4:00	3:00
3/3.	5:00	3:30	2:00
4/4.	4:00	2:00	1:30
5/5.	4:00	1:30	1:00
6/6.	4:00	1:00	0:30
7/7.	4:00	0:42	0:24
8	4:00	0:30	0:20
8.	4:00	0:30	0:18
9	1:00	0:24	0:10

*数字の後に点のある火力レベルは、火力レベル範囲が拡張されている場合にのみ利用可能です（「設定を調整する」参照）。

**工場出荷時設定

製品を知る

過熱防止機能

本製品(IHクッキングヒーター)が過度の温度によって損傷するのを防ぐため、過熱防止機構は以下のいずれかの方法で作動します：

過熱防止が作動する方法

- Booster機能がオンの場合はオフになります。
- 設定された火力レベルが下げられます。
- 調理ゾーンがオフになります。タイマー表示部でErrと044が交互に点滅します。
- すべての調理ゾーンがオフになります。

過熱防止機構が作動する状況

過熱防止機構は、以下の状況で作動する可能性があります。

- 加熱している調理器具が空である。
- 油や脂肪が高い火力レベルで加熱されている。
- 本製品(IHクッキングヒーター)の下側の換気が不十分である。
- 熱くなっている調理ゾーンが停電後にオンになった。

本製品(IHクッキングヒーター)のデータ

本製品(IHクッキングヒーター)の型式、製造番号、ソフトウェアバージョンを表示することができます。

初めてお使いになる前に

本製品(IHクッキングヒーター)を開梱する

- 本書に添付されている機器の型式表示シールを、本書の「アフターサービス」章の空欄に貼ります。
- 保護フィルムやラベルを取り外します。

本製品(IHクッキングヒーター)を初めて清掃する

- 初めて使用する前に、湿らせた布で本製品(IHクッキングヒーター)を清掃します。
- 本製品(IHクッキングヒーター)を乾燥させます。

本製品(IHクッキングヒーター)を初めてオンにする

金属部品には保護コーティングが施されています。本製品(IHクッキングヒーター)を初めて使用したときにわずかな臭いが発生し、場合によっては蒸気も発生します。誘導コイルの加熱も、運転開始後数時間わずかな臭いを発することがあります。臭いは使用を重ねるごとに減少し、やがて完全に消えます。

発生する臭いや蒸気は、接続不良や本機器の故障を示すものではなく、健康に害を及ぼすものではありません。

操作

操作に関する安全上の注意

 熱くなり過ぎた食品による火災のおそれ。

放置された食品は、熱くなりすぎて発火する可能性があります。

使用中は本製品(IHクッキングヒーター)のそばを離れないでください。

 熱くなった調理ゾーンによるやけどのおそれ。

調理ゾーンは使用後も熱くなっています。

余熱表示が表示されているうちは、調理ゾーンに触らないでください。

 熱くなったものによるやけどのおそれ。

意図的または誤って本製品(IHクッキングヒーター)の電源を入れたり、または余熱がある場合、本製品(IHクッキングヒーター)の上に金属類が残っていると加熱されるおそれがあります。

本製品(IHクッキングヒーター)を他のものを置く台として使用しないでください。

使用後は、①センサーコントロールで本製品(IHクッキングヒーター)をオフにしてください。

 センサーコントロールやディスプレイの上に熱い調理器具を置くと、その下にある電子モジュールが損傷することがあります。

センサーコントロールが反応しません。

意図せずにオンまたはオフになる場合があります。

本製品(IHクッキングヒーター)が自動的にオフになります（「製品を知る」 - 「安全のためのスイッチオフ」参照）。

センサーコントロールやディスプレイの上に熱い調理器具を置かないでください。

本製品(IHクッキングヒーター)をオンにする

- ①センサーコントロールをタッチします。他のセンサーコントロールが点灯します。

そのまま何もしない場合、安全上の理由から、本製品(IHクッキングヒーター)は数秒後に自動的にオフになります。

本製品(IHクッキングヒーター)/調理ゾーンをオフにする

本製品(IHクッキングヒーター)をオフにする

- 本製品(IHクッキングヒーター)とすべての調理ゾーンをオフにするには、①センサーコントロールをタッチします。

調理ゾーンをオフにする

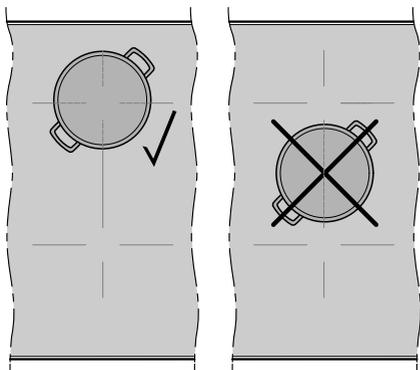
- 調理ゾーンをオフにするには、その調理ゾーンの数字キーパッドで0センサーコントロールをタッチします。

操作

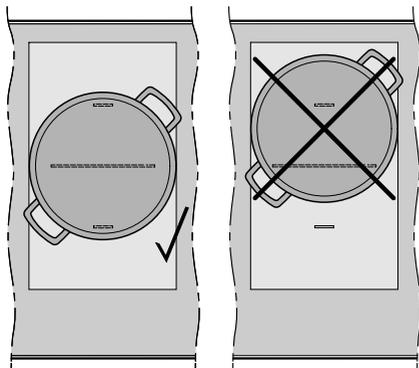
調理器具の位置を決める

調理器具のサイズと対応する位置については、お使いの製品(IHクッキングヒーター)の調理ゾーンデータを参照してください(「製品を知る」-「調理ゾーン」参照)。

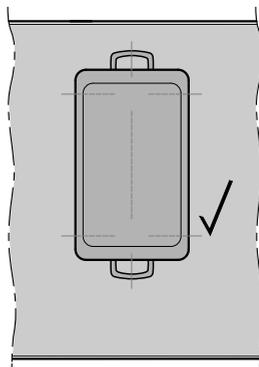
- 以下のように調理器具を配置します。



PowerFlex調理ゾーン



PowerFlex調理領域



PowerFlex調理領域

火力レベル

火力レベルを設定する

鍋の常時検知は標準設定では有効となっています（「設定を調整する」参照）。本製品(IHクッキングヒーター)をオンにし調理器具を調理ゾーンの一つに置くと、数字キーパッドのすべてのセンサーコントロールが点灯します。

- 使いたい調理ゾーンに調理器具を置きます。
- 数字キーパッドで、ご希望の火力レベルのセンサーコントロールをタッチします。

火力レベルを設定する - 拡張設定範囲

火力レベルの拡張設定範囲が有効になっている必要があります（「設定を調整する」参照）。

- 数字キーパッドで、2つのセンサーコントロールの間をタッチします。

中間レベルの左右の数字が、他のセンサーコントロールよりも明るく点灯します。

例：

火力レベル7を設定した場合、数字7と8が他の数字より明るくなります。

火力レベルを変更する

- 数字キーパッドで、ご希望の火力レベルのセンサーコントロールをタッチします。

PowerFlex調理ゾーンを手動でリンク/リンク解除する

- PowerFlex調理ゾーンを手動でリンクまたはリンク解除するには、センサーコントロールをタッチします。

操作

Booster

Boosterを有効にする

Booster機能が有効になると、リンクする調理ゾーンの設定が変わることがあります（「製品を知る」 - 「電力管理」参照）。

本製品(IHクッキングヒーター)では、Boosterを次のように使用できます。

- 調理ゾーンに対して使用
または
- PowerFlex調理領域に対して使用

Booster機能は最大15分間有効です。

TwinBoosterレベル1

- 使いたい調理ゾーンに調理器具を置きます。
 - 必要に応じて火力レベルを選択します。
 - **B**センサーコントロールにタッチします。
- TwinBoosterレベル1の表示●が点灯します。

TwinBoosterレベル2

- 使いたい調理ゾーンに調理器具を置きます。
- 必要に応じて火力レベルを選択します。
- **B**センサーコントロールを2回タッチします。

TwinBoosterレベル2の表示●が点灯します。

Boosterを無効にする

- **B**センサーコントロールを、表示ランプが消えるまで繰り返しタッチします。

または

- 別の火力レベルを設定します。

Booster機能を無効にするか、Booster時間が終了すると、

- Boosterを有効にする前に火力レベルが選択されていなかった場合は、調理ゾーンは自動的にレベル9に戻ります。
- Boosterを有効にする前に火力レベルが選択されていた場合は、調理ゾーンは自動的に前に選択していた火力レベルに戻ります。

Stop & Goを有効/無効にする

火力レベルとタイマーの設定は変更できず、本製品(IHクッキングヒーター)をオフにすることしかできません。キッチンタイマー、スイッチオフ、Booster、自動加熱の各残り時間は減り続けます。

この機能が1時間以内に無効にされないと、本製品(IHクッキングヒーター)はオフになります。

- **II**▶センサーコントロールをタッチします。

自動加熱

加熱時間は、選択した連続調理設定によって異なります。

連続調理設定*	加熱時間 【分:秒】
1	約 0:15
1.	約 0:15
2	約 0:15
2.	約 0:15
3	約 0:25
3.	約 0:25
4	約 0:50
4.	約 0:50
5	約 2:00
5.	約 5:50
6	約 5:50
6.	約 2:50
7	約 2:50
7.	約 2:50
8	約 2:50
8.	約 2:50
9	-

*数字の後に点のある連続調理設定は、火力レベルが拡張されている場合にのみ、利用できます（「設定を調整する」参照）。

自動加熱を有効にする

- ご希望の連続調理火力レベルのセンサーコントロールを、音が鳴ってセンサーコントロールが点滅し始めるまで長押しします。

選択した加熱時間（表を参照）の間、：

- 選択した連続調理火力レベルについては、設定した連続調理火力レベルが点滅します
- 選択した中間火力レベルについては、中間火力レベルの前後のセンサーコントロールが点滅します

自動加熱を無効にする

- 連続調理火力レベルのセンサーをタッチします。

または

- 別の火力レベルを設定します。

操作

タイマー

タイマー時間を設定する

時間は1分(0:01)から9時間59分(9:59)まで設定できます。

59分までは分(00:59)で表示され、60分を超える場合は時間と分で表示されます。

時間は以下のように入力します：

- キッチンタイマーの場合、左または左前の数字キーパッドを使用します（モデルによる）
 - 自動スイッチオフの場合、スイッチオフ時間になったら自動でスイッチオフしたい調理ゾーンの数字キーパッドを使用します
- 入力は時間、10分単位、分単位の順に行います。

例：

59分 = 00:59時間、

入力方法：5-9

80分 = 1:20時間、

入力方法：1-2-0

最初の数字が入力されると、タイマー表示部が点灯します。2番目の数字を入力すると、最初の数字が左に移動します。3番目の数字を入力すると、最初と2番目の数字が左に移動します。

キッチンタイマーを設定する

- △センサーコントロールをタッチします。タイマー表示部が点滅します。
 - ご希望の時間を設定します（「タイマー」-「タイマー時間を設定する」参照）。
- △センサーコントロールをタッチするか、10秒待ってキッチンタイマーを開始します。

キッチンタイマーの時間を変更する

- △センサーコントロールをタッチします。タイマー表示部が点滅します。
 - ご希望の時間を設定します（「タイマー」-「タイマー時間を設定する」参照）。
- △センサーコントロールをタッチするか、10秒待ってキッチンタイマーを開始します。

キッチンタイマーの時間を削除する

- △センサーコントロールをタッチします。
- 数字キーパッドの0をタッチします。

スイッチオフ時間を設定する

調理ゾーンは、最大稼働時間が経過すると、設定されたスイッチオフ時間とは無関係にオフになります（「製品を知る」-「安全のためのスイッチオフ」参照）。

使用する調理ゾーンの火力レベルを設定します。

- ④センサーコントロールをタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- ご希望の時間を設定します（「タイマー」-「タイマー時間を設定する」参照）。

④センサーコントロールをタッチするか、10秒待ってスイッチオフ時間を開始します。

調理ゾーンのスイッチオフ時間が経過し、調理ゾーンの自動スイッチオフ表示ランプが点滅します。

スイッチオフ時間を変更する

- 必要な調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、④センサーコントロールを繰り返しタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- ご希望の時間を設定します（「タイマー」-「タイマー時間を設定する」参照）。

④センサーコントロールをタッチするか、10秒待ってスイッチオフ時間を開始します。

調理ゾーンのスイッチオフ時間が経過し、調理ゾーンの自動スイッチオフ表示ランプが点滅します。

スイッチオフ時間を削除する

- 必要な調理ゾーンの自動スイッチオフ表示ランプが点滅するまで、④センサーコントロールを繰り返しタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 数字キーパッドの0センサーコントロールをタッチします。

複数のスイッチオフ時間を設定する

- 別の調理ゾーンのスイッチオフ時間を設定するには、「操作」-「スイッチオフ時間を設定する」の手順に従います。

複数のスイッチオフ時間が設定されている場合は、最も短い残り時間が表示され、対応する表示ランプが点滅します。他の表示ランプは点灯します。

スイッチオフ時間を表示する

- バックグラウンドでカウントダウンされている別の調理ゾーンの残り時間を表示させたい場合は、ご希望の調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで④センサーコントロールを繰り返しタッチします。

ご希望の調理ゾーンの切り上げ残り時間が表示されます。

両方のタイマー機能を同時に使用する

両方の機能を同時に使用すると、常に短い方の時間が表示されます。△センサーコントロール（キッチンタイマー）、またはスイッチオフ時間が最も短い調理ゾーンの表示ランプが点滅します。

- バックグラウンドでカウントダウンされている残り時間を表示させたい場合は、△または④センサーコントロールをタッチします。

- スイッチオフ時間が複数の調理ゾーンに対して設定されている場合は、表示させたい調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで④センサーコントロールを繰り返しタッチします。

操作

システムロック

システムロックを有効にする

すべてのセンサーコントロールがロックされます。キッチンタイマーが設定されている場合、時間はカウントダウンを続けます。

- ①センサーコントロールを6秒間長押しします。

秒数はタイマー表示部でカウントダウンされます。この時間が経過すると、*LDC*がタイマー表示部に表示されます。システムロックが有効になります。

システムロックが有効になっている間に、使用できないセンサーコントロールにタッチすると、*LDC*が数秒間タイマー表示部に表示され、音が鳴ります。

システムロックは、クッキングヒーターをオフにしてから5分後に自動的に有効になるように設定できます（「設定を調整する」参照）。

システムロックを無効にする

- ①センサーコントロールを6秒間長押しします。

*LDC*がタイマー表示部に短時間表示され、秒数がカウントダウンされます。この時間が経過すると、システムロックが無効になります。

セーフティロック

セーフティロックを有効にする

セーフティロックを有効にすると：

- 調理ゾーンと本製品(IHクッキングヒーター)は、オフにすることしかできません。
- 設定されたキッチンタイマーの時間は変更できません。

- ④とII▶のセンサーコントロールを同時に6秒間長押しします。

秒数はタイマー表示部でカウントダウンされます。この時間が経過すると、*LDC*がタイマー表示部に表示されます。セーフティロックが有効になります。

セーフティロックが有効になっている間に、使用できないセンサーコントロールにタッチすると、*LDC*が数秒間タイマー表示部に表示され、音が鳴ります。

セーフティロックを無効にする

- ④とII▶のセンサーコントロールを同時に6秒間長押しします。

*LDC*がタイマー表示部に短時間表示され、秒数がカウントダウンされます。この時間が経過すると、セーフティロック機能が無効になります。

直前設定の復帰機能を有効にする

- オフになった本製品(IHクッキングヒーター)を再度オンにします。

以前に設定された火力レベルが点滅します。

- 点滅している火力レベルの一つにすぐにタッチします。

すべての設定が復帰されます。

保温

保温機能を有効/無効にする

保温機能は、冷めてしまった食品の温め直しには使えません。

- 使いたい調理ゾーンの ∞ センサーコントロールをタッチします。

食品を保温するコツ

- 食品の保温には調理器具（鍋やフライパン）のみを使用します。調理器具にフタをします。
- しっかりした食品や粘り気のある食品（マッシュポテト、シチュー）は時々かき混ぜます。
- 食品の栄養素は調理すると減り、保温中も減り続けます。保温時間が長いほど、失われる栄養素も多くなります。食品の保温時間は、できるだけ短くすることを心がけてください。

ワイブプロテクション

ワイブプロテクションを有効にする

- ∞ センサーコントロールをタッチします。

タイマー表示部で時間がカウントダウンされます。

ワイブプロテクションを無効にする

- タイマー表示部が消えるまで ∞ センサーコントロールを長押しします。

操作

本製品(IHクッキングヒーター)のデータ

型式番号/製造番号を表示する

本製品(IHクッキングヒーター)の上に調理器具を置かないでください。

- 本製品(IHクッキングヒーター)をオンにします。
- 任意の数字キーパッドで0センサーコントロールをタッチします。
- 数字キーパッドの0と4のセンサーコントロールを同時に6秒間長押しします。

両番号は、タイマー表示部に順番に、ハイフンで区切られて表示されます。

例：12 34 (型式番号 KM 1234) -
123 45 67 89 (製造番号)

ソフトウェアバージョンを表示する

本製品の上に調理器具を置かないでください。

- 本製品(IHクッキングヒーター)をオンにします。
- 任意の数字キーパッドで0センサーコントロールをタッチします。
- 数字キーパッドの0と3のセンサーコントロールを同時に6秒間長押しします。

タイマー表示部に3つの数字が表示されます。

例：123 = ソフトウェアバージョン1.23。

デモモードを有効/無効にする

- 本製品(IHクッキングヒーター)をオンにします。
- 任意の数字キーパッドで0センサーコントロールをタッチします。
- 数字キーパッドの0と2のセンサーコントロールを同時に6秒間長押しします。

タイマー表示部に以下が数秒間点滅します。

- *dE*と*On*が交互に点滅 (デモモード有効)
または
- *dE*と*OFF*が交互に点滅 (デモモード無効)

火力レベル設定範囲

本製品(IHクッキングヒーター)は工場出荷時、火力レベルは9段階で設定されています。設定を微調整したい場合は、火力レベルの範囲を17段階に拡張することができます(「設定を調整する」参照)。

	設定範囲	
	工場出荷時設定 (9段階の火力レベル)	拡張設定 (17段階の火力レベル)
バターを溶かす ゼラチンを溶かす チョコレートを溶かす	1-2	1-2.
ミルクプリンを作る	2	2-2.
少量の液体を加熱する ご飯を炊く	3	3-3.
冷凍野菜を解凍する	3	2.-3
おかゆを作る	3	2.-3.
液体や半固体の食品を加熱する オムレツを作る、卵を軽く焼く 果物を蒸す	4	4-4.
餃子を焼く	4	4-5.
野菜や魚を蒸す	5	5
冷凍食品を解凍し再加熱する	5	5-5.
卵を軽く炒める(脂肪分を熱しすぎない)	6	5.-6.
大量の食品を沸騰させる(例: キャセロール) カスタードやソースを煮詰める(例: オランダーズ)	6-7	6.-7
薄切り肉、魚、ソーセージを軽く炒める(脂肪分を熱しすぎない)	6-7	6.-7.
ハッシュドポテトやパンケーキなどを焼く	7	6.-7
肉を煮込む	8	8-8.
大量の水を沸騰させる 沸騰させる	9	9

これらの設定はあくまでも参考としてください。IHコイルの火力は、調理器具の大きさや材質によって異なります。そのため、調理器具に合わせて火力レベルを若干調整する必要がある場合があります。製品を使用していくうちに、ご使用の調理器具に最適な設定が分かるようになります。使い慣れていない新しい調理器具を使用する場合は、記載の火力レベルより1段階下に設定してみてください。

知っておくと便利な情報

本製品(IHクッキングヒーター)の仕組み

各IH調理ゾーンの下には誘導コイルがあります。このコイルで磁界が発生し、それが鍋の底に直接作用して加熱します。調理ゾーン自体は、鍋から発生する熱によって間接的に加熱されます。

IH調理ゾーンは、底面が磁性体の鍋を置いた場合のみに機能します（「知っておくと便利な情報」-「調理器具」参照）。本製品(IHクッキングヒーター)は、調理器具のサイズを自動的に認識します。

使用中の音

IH調理ゾーンの使用中に、調理器具の材質や構造によっては、次のような音がする場合があります。

高い火力レベルでのブーンという音。これは、火力レベルを下げると音が小さくなるか、完全に止まります。

調理器具の底が異なる素材からなる複数の層（サンドイッチ構造など）でできている場合、ひび割れるような音がすることがあります。

リンクする調理ゾーン（「操作」-「Booster」参照）を同時に使用し、調理器具の底面が異なる素材からなる複数の層（サンドイッチ構造など）でできている場合、ヒューツと笛のような音がすることがあります。

特に火力レベルが低いときに、電子スイッチからカチツという音がすることがあります。

冷却ファンが作動すると、ヒュー（ブーン）という音がします。本製品(IHクッキングヒーター)が集中的に使用されているときに、電子モジュールを保護するためにオンになります。本製品(IHクッキングヒーター)をオフにした後も、冷却ファンが作動し続ける場合があります。

鍋

使用に適した調理器具

- 底に磁性体のあるステンレス調理器具
- ほうろう加工のスチール調理器具
- 鋳鉄

調理器具の底の性質は、食品が加熱される際の均一性に影響する可能性がありますのでご注意ください（パンケーキを作る時など）。調理器具の底は、均等に熱を伝えることができる必要があります。この場合、多層素材でできた底面（サンドイッチまたはカプセル構造）の調理器具が理想的です。

使用に適さない鍋

- 底に磁性体のないステンレス鍋
- アルミニウム製または銅製の鍋
- ガラス製、磁器、陶器の鍋
- 底にステンレス等をはめ込んだ貼り底タイプの鍋
- 底に凹凸（反りや脚）がある鍋

IH対応という表記の鍋でも、素材や構造により本製品で正常に使用できないものがあります。詳細は、ミーレのウェブサイトの「サービス」を参照してください。

鍋の使用確認

鍋がIH対応が確認するには、鍋底に磁石を近づけます。磁石が付く場合、たいていその鍋は使用できます。

調理器具に関するヒント

- 調理器具は調理ゾーン/調理領域のできるだけ中央に配置します。
- 調理ゾーンを最適に使用するためには、適切な底径の調理器具を選びます（「製品を知る」-「調理ゾーン」参照）。調理器具が小さすぎると認識されません。
- 底が滑らかな鍋やフライパンのみを使用してください。底が粗いと、セラミックガラスに傷がつく場合があります。
- 調理器具は必ず持ち上げてから動かしてください。引きずらずに持ち上げることで、傷がつくのを防ぎます。調理器具が引きずられた結果傷がついても、本製品(IHクッキングヒーター)の機能には影響はありません。このような傷は通常の使用によるものであり、苦情としてお受けすることはできません。
- メーカーが表示している調理器具の直径は、最大直径や上部の縁の直径を指している場合が多いのでご注意ください。底の直径（一般的に他の部分より小さい）が、より重要です。



- 可能な限り、側面が垂直な直線の調理器具をご使用ください。調理器具の側面が傾斜している場合、IHは調理器具の側面にも作用してしまいます。調理器具の側面が変色したり、コーティングが剥がれたりするおそれがあります。

設定を調整する

プログラミングモードにアクセスする

II▶センサーコントロールは、①センサーコントロールの左側約1 cm (人差し指の幅) にあります。

本製品(IHクッキングヒーター)がオフの状態である必要があります。

- ④センサーコントロールが点灯してPCがタイマー表示部に表示されるまで、①/II▶センサーコントロールを長押しします。

数秒後、タイマー表示部でP:01 (プログラム01) とC:01 (コード) が交互に点滅します。

プログラムを設定する

2桁のプログラム番号の場合、最初に10の位を設定します。

- ディスプレイにプログラムが表示されている間 (例: P:01)、希望するプログラム番号が表示されるまで ④センサーコントロールを繰り返し押すか、数字キーパッドの数字をタッチします。

コードを設定する

- ディスプレイにコードが表示されている間 (例: C:01)、希望のコード番号が表示されるまで ④センサーコントロールを繰り返し押すか、数字キーパッドの数字をタッチします。

設定を保存する

- ディスプレイにプログラムが表示されている間 (例: P:01)、表示が消えるまで①センサーコントロールをタッチします。

設定を保存しないようにする

- ディスプレイにコードが表示されている間 (例: C:01)、表示ランプが消えるまで①センサーをタッチします。

設定を調整する

プログラム ¹		コード ²	設定
P:01	デモモード	C:00	デモモード オフ
		C:01	デモモード オン ³
P:03	工場出荷時設定	C:00	工場出荷時設定に戻さない
		C:01	工場出荷時設定に戻す
P:04	火力レベル設定範囲	C:00	9段階の火力レベル + Booster
		C:01	17段階の火力レベル + Booster ⁴
P:06	センサーコントロールにタッチした時の音	C:00	オフ ⁵
		C:01	小
		C:02	中
		C:03	大
P:07	タイマーのブザー	C:00	オフ
		C:01	小
		C:02	中
		C:03	大
P:08	システムロック	C:00	手動でのみシステムロックを有効にする
		C:01	自動でシステムロックを有効にする
P:09	最大稼働時間	C:00	安全レベル 0
		C:01	安全レベル 1
		C:02	安全レベル 2

設定を調整する

プログラム ¹		コード ²	設定
P:12	センサーコントロールの反応速度	C:00	遅い
		C:01	標準
		C:02	速い
P:15	鍋の常時検知	C:00	鍋の常時検知 オフ
		C:01	鍋の常時検知 オン

- ¹ このリストにないプログラムは割り当てがありません。
- ² 太字は工場出荷時設定です。
- ³ 本製品(IHクッキングヒーター)をオンにすると、*dE*が数秒間タイマー表示部に表示されます。
- ⁴ 説明文や表の中で、拡張火力レベルは数字の後に点がついて記載されています。
- ⁵ オン/オフセンサーコントロールの操作音はオフにできません。

清掃とお手入れに関する安全上の注意



熱い表面によるやけどのおそれがあります。

本製品(IHクッキングヒーター)のすべての部品は、使用後熱くなっている可能性があります。

本製品(IHクッキングヒーター)をオフにします。

本製品(IHクッキングヒーター)を清掃する前に、本製品(IHクッキングヒーター)を冷ましてください。

不適切な洗剤を使用したり、適切な洗剤の残留物を本製品(IHクッキングヒーター)上で加熱したりすると、表面が変色または損傷する可能性があります。表面は傷つきやすくなっています。

本製品(IHクッキングヒーター)を清掃する前に、表面を冷ましてください。

洗剤の残留物はすぐに拭き取ってください。

研磨剤入りのスポンジや洗剤は絶対に使用しないでください。

本製品(IHクッキングヒーター)の清掃には、絶対にスチームクリーナーを使用しないでください。

清掃に尖った物を使わないでください。

清掃とお手入れ

清掃の時期

- 毎回使用後、本製品(IHクッキングヒーター)全体を清掃してください。

セラミックガラス表面を清掃する

軽い汚れを除去する

- 湿らせた柔らかい布に水と少量の食器用洗剤を含ませ、クッキングヒーターのセラミック面全体を清掃します。洗剤メーカーの指示に従ってください。

頑固な汚れを除去する

- ざらざらした汚れは湿らせた布で、頑固な汚れはガラスに適したスクレーパーで除去します。
- ガラスセラミックの表面は、専用のセラミックガラス用クリーナーで清掃してください。洗剤メーカーの指示に従ってください。

清掃の仕上げ

- 湿った布で、洗剤の残留物をすべて取り除きます。
- 清掃後はクッキングヒーターのセラミック面を乾かします。

不適切な洗剤

本機器表面の損傷を防ぐために、次の洗剤は使用しないでください。

- 酸化ナトリウム、アルカリ、アンモニア、酸、塩化物を含有する洗剤
- しみまたはサビ落とし剤
- 研磨剤入りの洗剤（粉末洗剤、クリームクレンザーなど）
- 溶剤を含む洗剤
- 食器洗い機用洗剤
- オープン用スプレー
- 硬い研磨ブラシ
- メラミンスポンジ
- スポンジ

ディスプレイのメッセージ

問題	原因および対策
タイマー表示部でErrと30が交互に点滅し、音が鳴る。	<p>本製品(IHクッキングヒーター)が正しく接続されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コンセントから本製品(IHクッキングヒーター)の電源プラグを引き抜いてください。 ■ カスタマーサービスまでご連絡ください。
本製品(IHクッキングヒーター)をオンした後、またはセンサーコントロールにタッチした後、タイマー表示部にLOCが数秒間表示される。	<p>システムロックが有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ システムロックを無効にします（「操作」 - 「システムロックを無効にする」参照）。
	<p>セーフティロックが有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ セーフティロックを無効にします（「操作」 - 「セーフティロックを無効にする」参照）。
本製品(IHクッキングヒーター)をオンにすると、タイマー表示部にdEが短時間表示される。本製品(IHクッキングヒーター)が加熱されない。	<p>本製品(IHクッキングヒーター)がデモモードになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ タイマー表示部でdEとOFFが交互に点滅するまで、0と2のセンサーコントロールを同時にタッチします。
本製品(IHクッキングヒーター)が自動的にオフになる。再びオンにすると、オン/オフ①センサーコントロールの上にCが表示される。	<p>センサーコントロールが1つまたは複数覆われています（例：指が触れている、食品が吹きこぼれている、物がかぶさっている）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 汚れを落とし、物があったら取り除きます（「製品を知る」 - 「安全のためのスイッチオフ」参照）。
タイマー表示部でErrが044と交互に点滅する。	<p>過熱防止機構が作動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本製品(IHクッキングヒーター)を冷まします。 ■ 過熱の原因を修正します（「製品を知る」 - 「過熱防止」参照）。 ■ 本製品(IHクッキングヒーター)が動作していることを確認します。 ■ このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。
タイマー表示部でErrが、047、048、049 iのいずれかと交互に点滅する。	<p>ファンが塞がれているか、故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 物によって塞がれていないか確認します。 ■ 塞いでる物を取り除きます。 ■ このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。

トラブルシューティング

問題	原因および対策
タイマー表示部で、E-0などのE番号が120、121、122、123、124、125、126、127のいずれかと交互に点滅する。	<p>ファンが塞がれているか、故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 物によって塞がれていないか確認します。 ■ 塞いでる物を取り除きます。 ■ このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。
この表に記載されていないメッセージがタイマー表示部に表示される。	<p>電子モジュールに異常があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本製品(IHクッキングヒーター)への電源供給を約1分間遮断します。 ■ 電源供給を再度しても引き続き問題が生じる場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。

予期しない動作

問題	原因および対策
㊦記号が点灯するか、ゾーン表示ランプの火力レベルまたはRと交互に点滅する。	<p>調理ゾーンに調理器具が置かれていません。</p> <p>調理ゾーンに使用に適さない調理器具が置かれています。</p> <p>調理器具の底の直径が小さすぎます。</p> <p>使用に適した調理器具が調理ゾーンから取り外されました。</p> <p>調理ゾーンに調理器具が置かれていない、または使用に適さない調理器具が置かれている場合、調理ゾーンは3分後に自動的にオフになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 使用に適した調理器具を3分以内に調理ゾーンに置いてください。 <p>㊦が消えます。前回選択した設定で調理プロセスが開始/継続されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 別の調理器具や食品を使用する場合は、設定を変更してください。
火力レベル 9 は、リンクされている調理ゾーンも火力レベル 9 を設定すると、自動的に低下する。	<p>両ゾーンを火力レベル 9 で稼働させると、2つのゾーンで許容される最大火力を超えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 別の調理ゾーンを使用してください。

トラブルシューティング

問題	原因および対策
調理ゾーンまたは本製品(IHクッキングヒーター)全体が自動的にオフになる。	稼働時間が長すぎました。 ■ 本製品(IHクッキングヒーター)または調理ゾーンを再度オンにします(「製品を知る」-「安全のためのスイッチオフ」参照)。
	過熱防止機構が作動しています。 ■ 本製品(IHクッキングヒーター)を冷まします。 ■ 過熱の原因を修正します(「製品を知る」-「過熱防止」参照)。 ■ 本製品(IHクッキングヒーター)が動作していることを確認します。 ■ 問題が解消しない場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。
設定された火力レベルで、調理ゾーンが通常通りに動作しない。	過熱防止機構が作動しています。 ■ 本製品(IHクッキングヒーター)を冷まします。 ■ 過熱の原因を修正します(「製品を知る」-「過熱防止」参照)。 ■ 本製品(IHクッキングヒーター)が動作していることを確認します。 ■ 問題が解消しない場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。
Boosterレベルが自動的に早く無効になる。	過熱防止機構が作動しています。 ■ 本製品(IHクッキングヒーター)を冷まします。 ■ 過熱の原因を修正します(「製品を知る」-「過熱防止」参照)。 ■ 本製品(IHクッキングヒーター)が動作していることを確認します。 ■ 問題が解消しない場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。

期待通りの結果にならない

問題	原因および対策
自動加熱機能がオンの時、鍋の中身が加熱されない。	鍋の中身が多過ぎます。 ■ 最高の火力レベルで調理を初め、後から手で火力レベルを下げてください。
	鍋の伝導率が悪い。 ■ 適切に熱を伝導する別の鍋またはフライパンを使用します。

トラブルシューティング

一般的な問題または技術的な障害

問題	原因および対策
本製品(IHクッキングヒーター)をオンにできない。	<p>本製品(IHクッキングヒーター)に電源がきていません。</p> <ul style="list-style-type: none">■ ヒューズが短絡していないか確認します。電気技術者またはミーレ・カスタマーサービスにお問い合わせください（定格消費電力については、型式表示シールを参照）。
	<p>技術的な障害が発生している可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 本製品(IHクッキングヒーター)を電源から約1分間遮断します。これは以下の方法で行います：<ul style="list-style-type: none">- コンセントからプラグを抜く- ブレーカーを落とす■ コンセントやブレーカーを入れ直しても本製品(IHクッキングヒーター)がオンにならない場合は、有資格の電気技術者またはミーレ・カスタマーサービスまでご連絡ください。
新しい本製品(IHクッキングヒーター)を使用すると、臭いと蒸気が発生する。	<p>金属部品には保護コーティングが施されています。本製品(IHクッキングヒーター)を初めて使用したときにわずかな臭いが発生し、場合によっては蒸気も発生します。誘導コイルの素材も、最初の数時間臭いを発生させます。臭いは使用を重ねるごとに減少し、やがて完全に消えます。発生する臭いや蒸気は、接続不良や本機器の故障を示すものではなく、健康に害を及ぼすものではありません。</p>
本製品(IHクッキングヒーター)をオフにした後、動作音が聞こえる。	<p>冷却ファンは、本製品(IHクッキングヒーター)が冷めるまで動作を続け、自動的に停止します。</p>

アフターサービス、型式表示シール

故障の際の連絡先

お客様ご自身では対応できない故障が発生した場合は、ミーレ代理店またはミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。

ミーレ・カスタマーサービスの連絡先情報は、本冊子の最終ページにあります。

ミーレ・カスタマーサービスにご連絡いただく際には、お使いの機器の型番と製造番号(SN)をご用意ください。この情報は型式表示シールに記載されています。または、「操作」-「本製品(IHクッキングヒーター)のデータ」をご参照ください。

型式表示シール

本体に付属している予備の型式表示シールをここに貼付してください。型式番号が本書の裏表紙に記載されている番号と一致することを確認してください。

保証条件と保証期間

ご使用の製品に同梱されている保証書を参照してください。ご不明な点がございましたら本冊子の最終ページに記載されている弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

別売アクセサリー

お手入れ用品

マイクロファイバークロス

指紋や軽い汚れを落とします。

設置に関する安全上の注意

⚠ 誤った設置による損傷のおそれがあります。ミーレウェブサイトの「サービス」の「設置・施工手順書」に従ってください。

誤った設置は、本製品(HKクッキングヒーター)を損傷するおそれがあります。
本製品(HKクッキングヒーター)は有資格者のみが設置できます。

⚠ 主電源からの感電のおそれがあります。

主電源への誤った接続は、感電を引き起こすおそれがあります。
本製品(HKクッキングヒーター)を電源に接続できるのは、有資格者のみです。

⚠ 落下物による損傷のおそれがあります。

本製品(HKクッキングヒーター)の上にウォールキャビネットやレンジフードを取り付ける時は、本製品を損傷しないように注意してください。
ウォールキャビネットとレンジフードは本製品(HKクッキングヒーター)の設置前に取り付けます。

修理のために本製品(HKクッキングヒーター)を取り外すと、本製品(HKクッキングヒーター)の縁の下のシールストリップが損傷することがあります。

再設置する前に、必ずシールストリップを交換してください。

本製品(HKクッキングヒーター)、は、冷蔵機器、食器洗い機、洗濯機、洗濯乾燥機、衣類乾燥機の上に設置しないでください。

この本製品(HKクッキングヒーター)、は、冷却ファンが内蔵されているものでない限り、オープンや調理器具の上に設置しないでください。

設置後、本製品(HKクッキングヒーター)の電源コードは可動するキッチン家具（引き出しなど）と接触したり、損傷につながるおそれのある機械的負荷にさらされたりしないようにしてください。

キッチンカウンター（または隣接するキッチンキャビネット）のベニヤまたはラミネートコーティングは、溶けたりゆがんだりしない100℃の耐熱接着剤で処置する必要があります。背面は耐熱材料でなければいけません。

各機器間の隙間は、耐熱温度160° C以上のシリコンシーリング材で密閉します。フラッシュ設置の場合、本製品とワークトップの隙間も、耐熱温度160° C以上のシリコンシーリング材で密閉する必要があります。

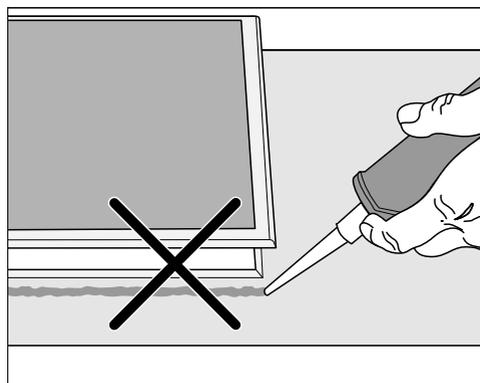
設置後、メンテナンスのためにケーシングを取り外せるように、本製品は下から簡単にアクセスできる必要があります。本製品に下からアクセスできない場合は、機器を取り外せるようにシーリング材をすべて取り除く必要があります。

必ず最小離隔距離を守ってください（「設置」 - 「安全な離隔距離」参照）。

複数の機器を設置する場合は、各機器の下にそれぞれの離隔距離を確保する必要があります（「設置」 - 「安全な離隔距離」参照）。

設置

カウンター表面設置の場合の追加の安全上のご注意

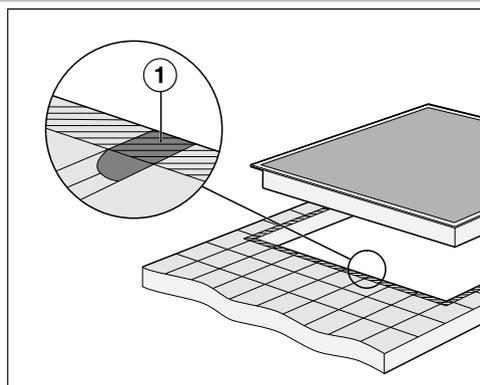


⚠ 誤った設置による損傷のおそれがあります。

本製品(IHクッキングヒーター)をシーリング材でシーリングした後に本製品(IHクッキングヒーター)を取り外す必要がある場合、本製品(IHクッキングヒーター)とワークトップが損傷する可能性があります。

本製品(IHクッキングヒーター)とワークトップの間にはシーリング材を使用しないでください。

ワークトップとのシーリングは、本製品(IHクッキングヒーター)の縁の下にあるシールストリップだけで十分です。



目地①と、本製品(IHクッキングヒーター)フレーム下の斜線部分は滑らかで均一でなければなりません。そうでない場合、本製品(IHクッキングヒーター)はワークトップとぴったりの高さには設置されず、機器上部の縁の下にあるシールストリップが機器とワークトップとの間を十分にシーリングしません。

フラッシュ設置の場合の追加の安全上のご注意

 不適切なシーリング材による損傷のおそれがあります。
不適切なシーリング材は天然石を損傷するおそれがあります。
天然石のワークトップや天然石タイルには、天然石用に特別に調合されたシリコンシーリング材のみを使用してください。メーカーの指示に従ってください。

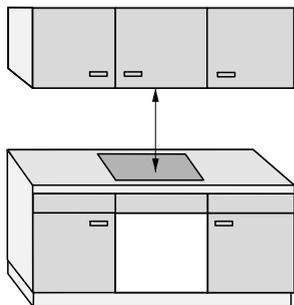
フラッシュ設置の本製品(IHクッキングヒーター)は、天然石（御影石、大理石）、硬質木製天板、タイル張りワークトップへの設置にのみ適しています。その他の素材のワークトップに設置する場合は、ワークトップが本製品(IHクッキングヒーター)のフラッシュ設置に適しているかどうか、関連メーカーにご相談ください。

- 天然石のワークトップ：本製品(IHクッキングヒーター)を開口部に直接設置します。
- 硬質木製天板、タイル張りのワークトップ：本製品(IHクッキングヒーター)は、木製の当て木で開口部の内側に固定します。当て木は別途現場で用意する必要があり、本製品には付属していません。

設置

安全な離隔距離

本製品(IHクッキングヒーター)上方の離隔距離



本製品(IHクッキングヒーター)とその上のレンジフードの間では、以下を確保する必要があります：

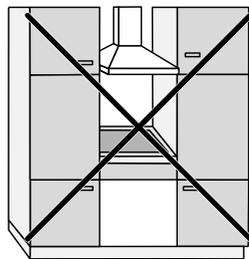
- レンジフードのメーカーが指定した安全距離を確保する必要があります。
- 安全な離隔距離の異なる複数の機器をレンジフードの下に一緒に設置する時は、その中で最大の離隔距離を確保する必要があります。

本製品(IHクッキングヒーター)の上方に可燃物が設置されている場合（キャビネット、調理器具用レールなど）、最小離隔距離**500 mm**を確保する必要があります。

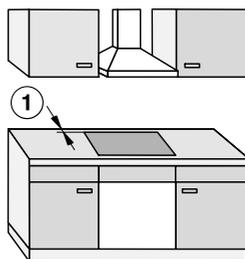
本製品(HKクッキングヒーター)の後方と側方の離隔距離

機器とトールユニットや壁との間に、以下に示す最小離隔距離を確保する必要があります：

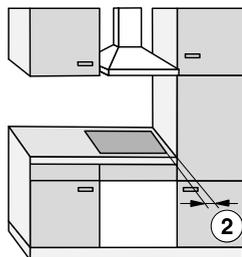
- ワークトップの開口部の**奥側**①とワークトップ後端との間：
50 mm
および
- ワークトップの開口部と、最も近い隣の家具（トールユニット等）や壁との間の**右側**②：
50 mm、反対側は最小離隔距離200 mm
または
- ワークトップの開口部と、最も近い隣の家具（トールユニット等）または壁との間の**左側**③：
50 mm、反対側は最小離隔距離200 mm



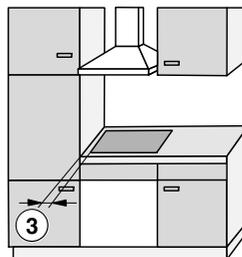
不可



推奨



推奨せず



推奨せず

設置

本製品(IHクッキングヒーター)の下方の 離隔距離

離隔距離を確保しながら本製品(IHクッキングヒーター)を設置するには、次の3つのバリエーションから選択できます：

1. 中間棚や底板なし
2. 中間棚あり
3. 吸気に最適化された底板あり

複数の機器を設置する場合は、各機器の下にそれぞれの離隔距離を確保する必要があります。

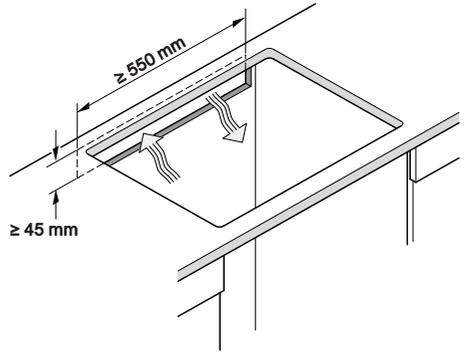
詳細な手順は、各項で説明されています。

吸気に最適化された底板と、中間棚とを組み合わせることはできません。
組み合わせると、より多くの暖気が取り込まれてしまいます。本製品(IHクッキングヒーター)が十分に冷却されません。

後方の開口

換気と**電源コード接続**のため、後方の壁に開口を作る必要があります。

以下の手順で後方の壁に開口を作ります：



1. 中間棚や底板なし

本製品(IHクッキングヒーター)の適切な換気を確保するため、本製品(IHクッキングヒーター)と引き出しやオープンとの間には隔離距離が必要です。

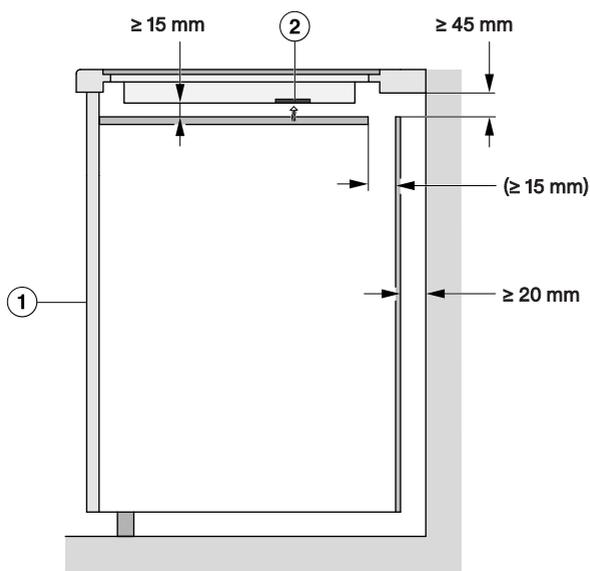
本製品(IHクッキングヒーター)の底面¹からの隔離距離：

- 引き出しの上端まで： $\geq 5 \text{ mm}$
- 引き出しの底面まで： $\geq 75 \text{ mm}$
- オープン上部まで： $\geq 15 \text{ mm}$

¹底面とは、本製品(IHクッキングヒーター)ケーシングの外表面です。それより下に取り付けられている接続ボックスやシムなどは最低部とは扱われず、最小隔離距離の計算には考慮されません。

2. 中間棚

カッコ内の寸法は推奨値です。



側面図

① 前

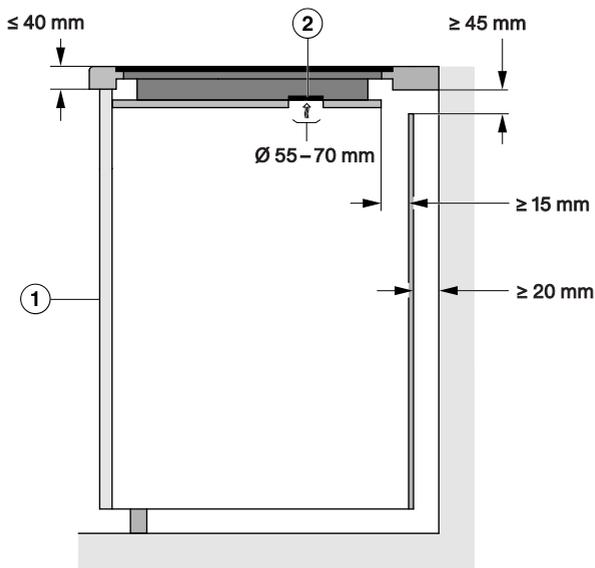
② ファン

設置

3. 吸気に最適化された底板

本製品(IHクッキングヒーター)の性能は、換気状況に左右されます。

吸気に最適化された底板には、ファンの位置に開口部があります。この項では、吸気に最適化された底板の作成方法を説明します。



側面図

- ① 前
- ② ファン

本製品(IHクッキングヒーター)に十分な換気を確保するため、吸気に最適化された底板の底面と引き出しとの間に離隔距離が必要です。

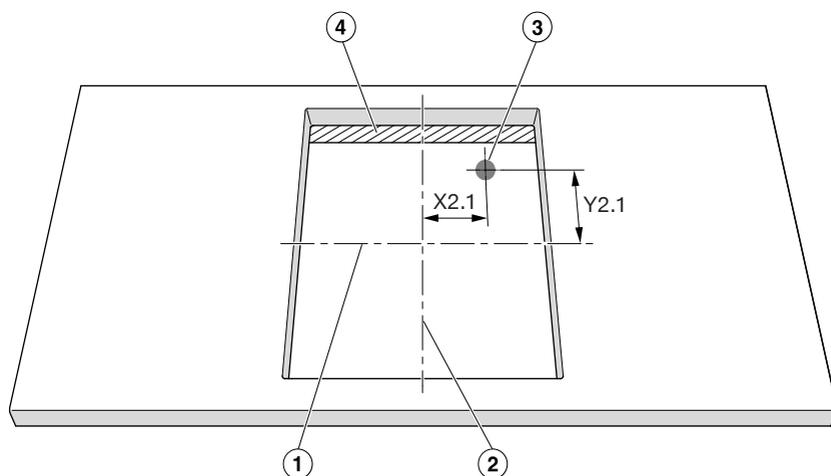
吸気に最適化された底板の底面からの離隔距離：

- 引き出しの上端まで：≥ 5 mm
- 引き出しの底面まで：≥ 75 mm
- 中間棚の上端まで：不可

吸気に最適化された底板と本製品(IHクッキングヒーター)の間に隙間がないようにしてください。

隙間があると、より多くの暖気を取り込まれてしまいます。本製品(IHクッキングヒーター)が十分に冷却されません。

換気口の位置と開口



図は縮尺通りではありません。上から見た図。図はカウンター表面設置の場合の開口です。フラッシュ設置にも適用されます。

- ① 開口奥行きを中心
- ② 開口幅を中心
- ③ ファン用開口、円形(Ø 55–70 mm)
- ④ 間隙(≥ 15 mm)

X2.1	Y2.1
開口中心からの距離 mm	
61	89

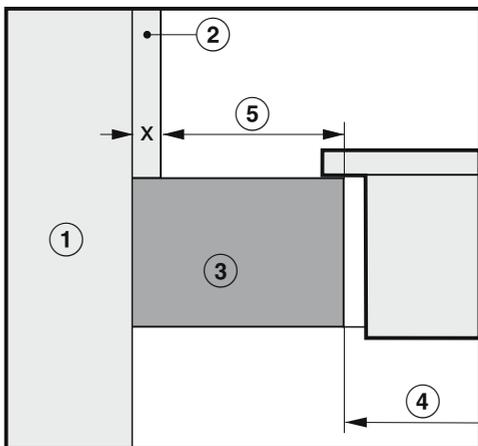
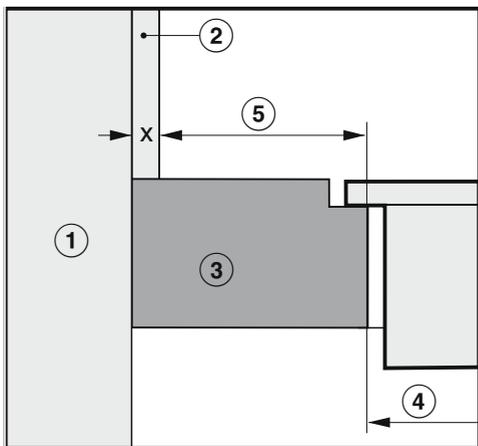
設置

被覆材からの離隔距離

被覆材を設置する場合、ワークトップ開口と被覆材との間に最小離隔距離を確保する必要があります。高温により、これらの素材が変質または損傷することがあります。

フラッシュ設置

カウンター表面設置



- ① 石
- ② 寸法 x = 被覆材の厚さ
- ③ ワークトップ
- ④ ワークトップの開口
- ⑤ 最小離隔距離

可燃性素材（木材など）まで

不燃性素材（金属、天然石、セラミックタイルなど）まで

素材	側方		反対側	
	可燃性	不燃性	可燃性	不燃性
後方	50 mm	50 mm マイナス 寸法 x	-	-
右	50 mm	50 mm マイナス 寸法 x	200 mm	200 mm マイナス 寸法 x
左	50 mm	50 mm マイナス 寸法 x	200 mm	200 mm マイナス 寸法 x

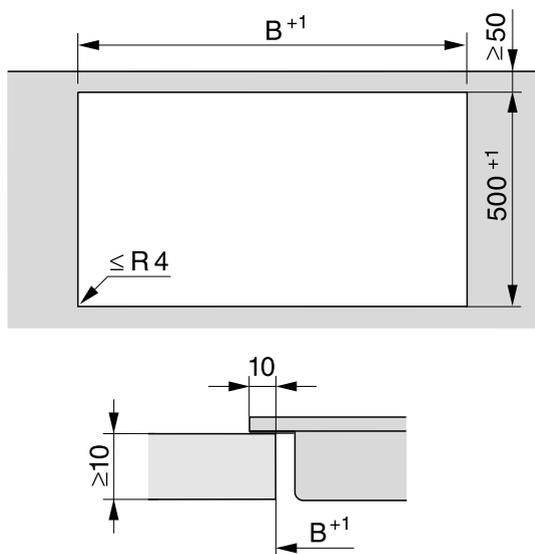
「設置」 - 「安全な離隔距離」 参照

例：15 mm 厚の不燃性被覆材

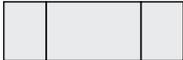
50 mm マイナス 15 mm = 最小離隔距離 35 mm

設置

カウンター表面設置用のワークトップ開口

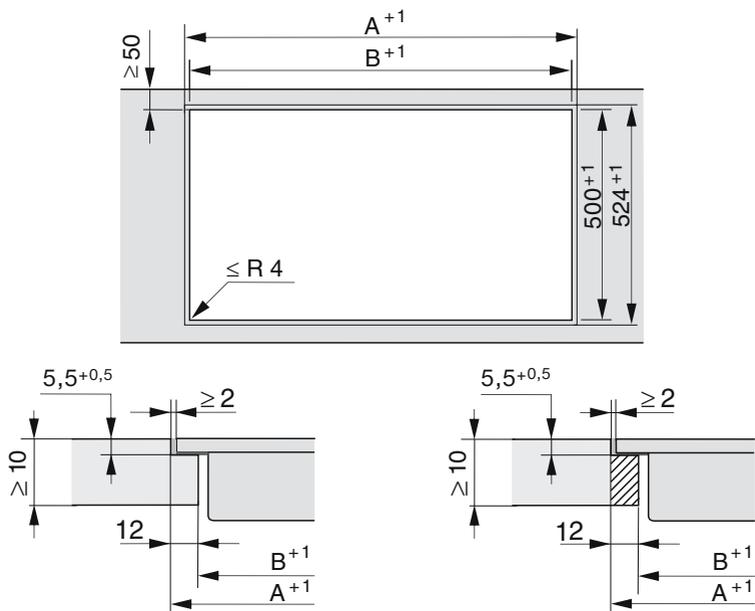


カウンター表面設置（未発売製品の寸法も記載されています）

組み合わせの例	台数 x 幅 [mm] 調理機器	寸法 B [mm]
	1 x 378	359
	2 x 378	740
	1 x 378 1 x 620	982
	3 x 378	1121
	1 x 378 1 x 800	1163
	2 x 378 1 x 620	1363
	4 x 378	1502
	2 x 378 1 x 800	1543
	2 x 378 1 x 936	1679

設置

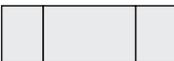
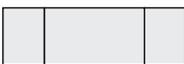
フラッシュ設置の場合のワークトップ開口



天然石ワークトップ

木製ワークトップ

フラッシュ設置（未発売製品の寸法も記載されています）

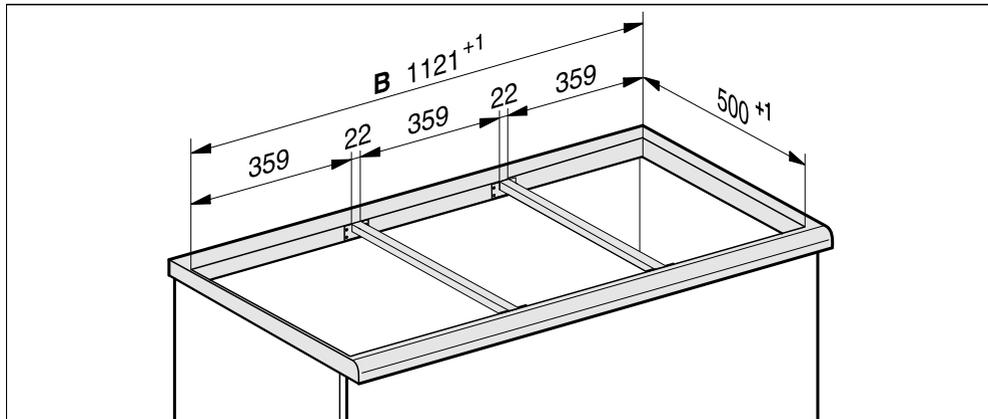
組み合わせの例	台数 x 幅 [mm] 調理機器	寸法 A [mm]	寸法 B [mm]
	1 x 378	383	359
	2 x 378	764	740
	1 x 378 1 x 620	1006	982
	3 x 378	1145	1121
	1 x 378 1 x 800	1187	1163
	2 x 378 1 x 620	1387	1363
	4 x 378	1526	1502
	2 x 378 1 x 800	1567	1543
	2 x 378 1 x 936	1703	1679

設置

カウンター表面設置の場合のバー型スペーサー

複数の機器を設置する場合は、それらの間にバー型スペーサーを取り付ける必要があります。
バー型スペーサーに付属しているクリップは、カウンタートップエクストラクターを設置する場合にのみ必要です。

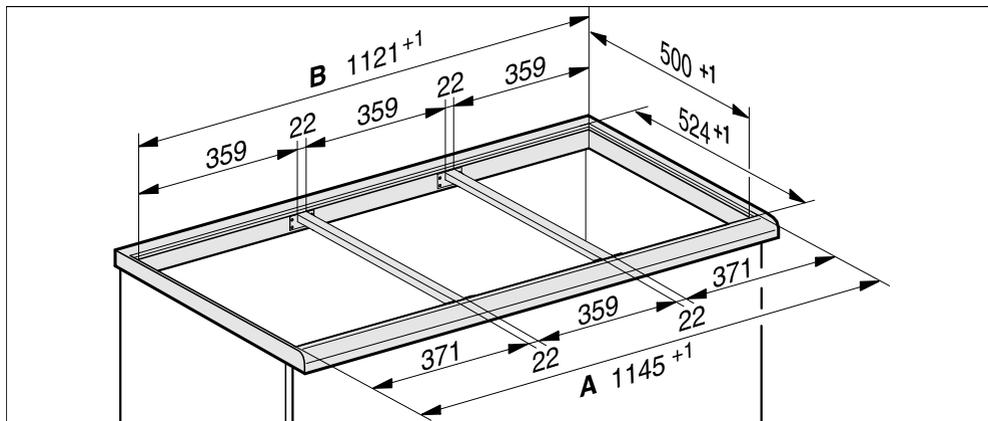
機器3台とバー型スペーサー2本を取り付ける



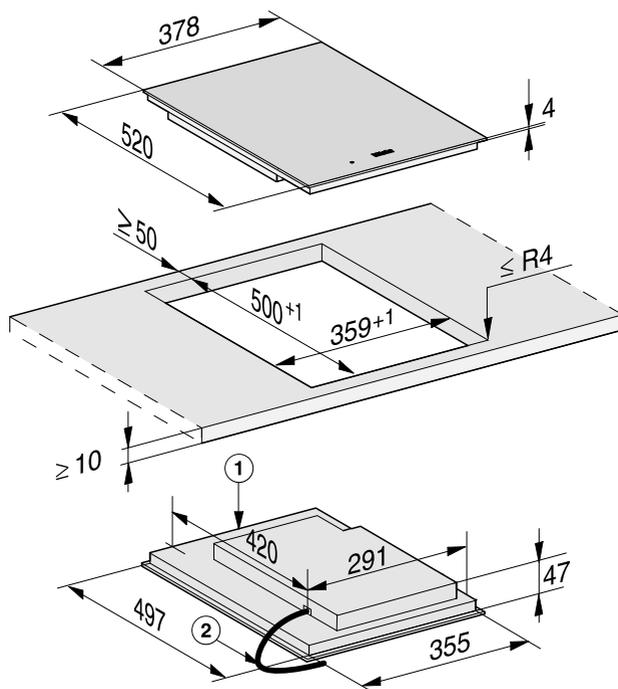
フラッシュ設置の場合のバー型スペーサー

複数の機器を設置する場合は、それらの間にバー型スペーサーを取り付ける必要があります。
バー型スペーサーに付属しているクリップは、カウンタートップエクストラクターを設置する場合にのみ必要です。

機器3台とバー型スペーサー2本を取り付ける



カウンター表面設置の場合の設置寸法

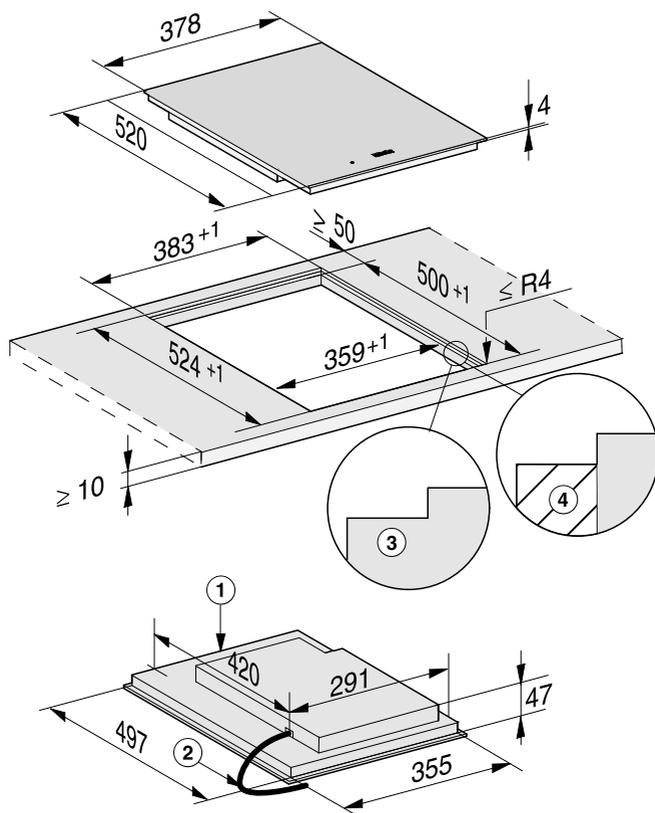


すべての寸法はmm表示です。

- ① 前面
- ② 電源コード

設置

フラッシュ設置の場合の設置寸法



すべての寸法はmm表示です。

- ① 前面
- ② 電源コード
- ③ 段付き開口（詳細図は、「設置」-「フラッシュ設置の場合のワークトップ開口」参照）
- ④ 12 mm木枠（付属していません。詳細図は「設置」-「フラッシュ設置の場合のバー型スペーサー」参照）

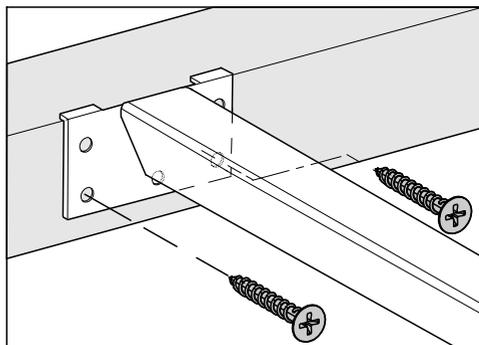
本製品(IHクッキングヒーター)をカウンター表面設置する

カウンター表面設置のためのワークトップを準備する

- 必ず最小離隔距離を守ってください（「設置」 - 「安全な離隔距離」参照）。
- ワークトップの開口を作ります。
- 木製のワークトップ：
湿気の侵入による木材の膨張を防ぐために、切断面を特殊なニス、シリコンシーリング材、または樹脂でシーリングします。シーリング材は耐熱性のあるものを使用します。

シーリング材がワークトップの上部に接触しないようにしてください。

カウンター表面設置のバー型スペーサーを木製ワークトップに固定する

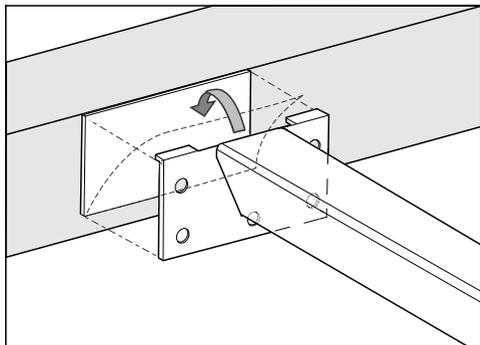


- バー型スペーサーを開口の上端と同じ高さ
にセットします。
- 付属の木ねじ(3.5 x 25 mm)を使ってバー
型スペーサーを固定します。以下を使用し
ます：
 - 次の機器のいずれかをバー型スペーサーの右
側または左側に設置する場合は、中央のねじ
穴を使用：CS 7611, CS 7641,
CS 7101(-1), CS 7102(-1)
 - または
 - 他のすべての組み合わせの場合は、2つの外
側の穴を使用

設置

カウンター表面設置のバー型スペーサーを天然石ワークトップに固定する

バー型スペーサーを固定するには、頑丈な両面テープ（付属していません）が必要です。



- ワークトップ開口の上端に沿ってテープを貼り付けます。
- バー型スペーサーを開口の上端と同じ高さにセットします。
- バー型スペーサーをしっかりと押しつけます。

カウンター表面設置の本製品(IHクッキングヒーター)を挿入する

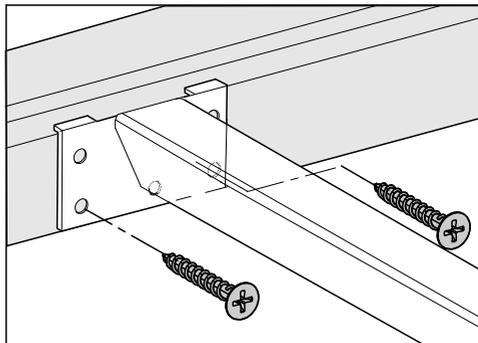
- 付属のシールストリップを本製品(IHクッキングヒーター)の縁の下に貼り付けます。シールストリップを貼り付ける際にテンションをかけないでください。
- 本製品(IHクッキングヒーター)の電源コードをワークトップの開口から下へ通します。
- ワークトップの開口に本製品(IHクッキングヒーター)を配置します。以下を確認します：
 - 機器のシールストリップが全周にわたってワークトップ面とぴったり接していること。
 - 開口の中心に設置し、傾きや隙間がないこと。
- シールストリップが角でワークトップにうまく合わない場合は、角のアール(≦R4)をジグソーを使って慎重にカットして合わせます。
- 吸気に最適化された底板が設置されている場合は、ファンが吸気用開口の真上にくるように本製品(IHクッキングヒーター)を置きます。
- 本製品(IHクッキングヒーター)を主電源に接続します。
- 本製品(IHクッキングヒーター)が動作していることを確認します。
- 機器間の隙間を耐熱温度160°C以上のシリコーンシーリング材でシーリングします。

本製品(IHクッキングヒーター)をフラッシュ設置する

フラッシュ設置のためのワークトップを準備する

- 必ず最小離隔距離を守ってください（「設置」 - 「安全な離隔距離」参照）。
- ワークトップの開口を作ります。
- 硬質木製天板、タイル張りのワークトップ：
木製の当て木をワークトップの上端から 5.5 mm または 7 mm (CS 7611 FL) 下に固定します。

フラッシュ設置バー型スペーサーを木製ワークトップに固定する

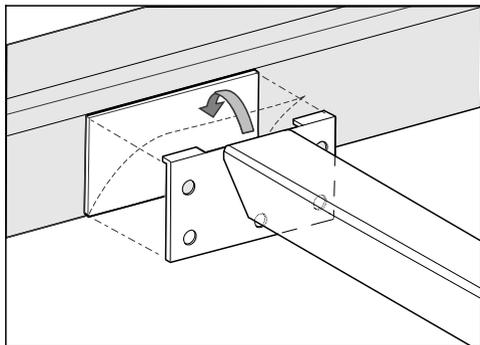


- バー型スペーサーを、段付き開口の下の段と同じ高さに合わせます。
- 付属の木ねじ(3.5 x 25 mm)を使ってバー型スペーサーを固定します。以下を使用します：
 - 次の機器のいずれかをバー型スペーサーの右側または左側に設置する場合は、中央のねじ穴を使用：CS 7611, CS 7641, CS 7101(-1), CS 7102(-1)
 - または
 - 他のすべての組み合わせの場合は、2つの外側の穴を使用

設置

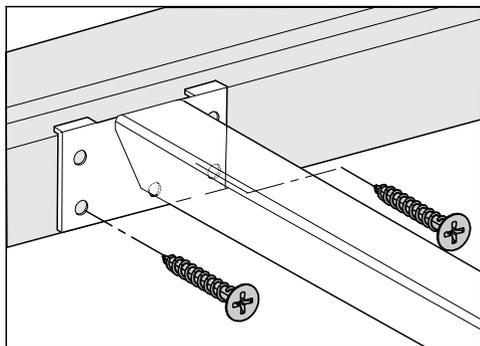
フラッシュ設置バー型スペーサーを天然石ワークトップに固定する

バー型スペーサーを固定するには、頑丈な両面テープ（付属していません）が必要です。



- 段付き開口の下段にテープを貼り付けます。
- バー型スペーサーを、段付き開口の下の段と同じ高さに合わせます。
- バー型スペーサーをしっかりと押しつけます。

フラッシュ設置バー型スペーサーを木製ワークトップに固定する



- バー型スペーサーを、段付き開口の下の段と同じ高さに合わせます。
- 付属の木ねじ(3.5 x 25 mm)を使ってバー型スペーサーを固定します。以下を使用します：

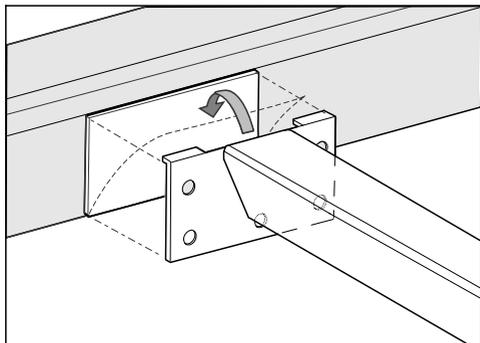
- 次の機器のいずれかをバー型スペーサーの右側または左側に設置する場合は、中央のねじ穴を使用：CS 7611, CS 7641, CS 7101(-1), CS 7102(-1)

または

- 他のすべての組み合わせの場合は、2つの外側の穴を使用

フラッシュ設置バー型スペーサーを天然石ワークトップに固定する

バー型スペーサーを固定するには、頑丈な両面テープ（付属していません）が必要です。



- 段付き開口の下段にテープを貼り付けます。
- バー型スペーサーを、段付き開口の下の段と同じ高さに合わせます。
- バー型スペーサーをしっかりと押しつけます。

フラッシュ設置の本製品(IHクッキングヒーター)を挿入する

- 付属のシールストリップを本製品(IHクッキングヒーター)の縁の下に貼り付けます。シールストリップを貼り付ける際にテンションをかけないでください。
- 本製品(IHクッキングヒーター)の電源コードをワークトップの開口から下へ通します。
- ワークトップの開口に本製品(IHクッキングヒーター)を配置します。以下を確認します：
 - 機器のシールストリップが全周にわたってワークトップ面とぴったり接していること。
 - 開口の中心に設置し、傾きや隙間がないこと。
- 吸気に最適化された底板が設置されている場合は、ファンが吸気用開口の真上にくるように本製品(IHクッキングヒーター)を置きます。
- 本製品(IHクッキングヒーター)を主電源に接続します。
- 本製品(IHクッキングヒーター)が動作していることを確認します。
- 各本製品間および本製品とワークトップ間の隙間は、160° C以上の耐熱性を持つシリコンシーラントで塞いでください。

設置

電源接続

 誤った接続による損傷のおそれがあります。

無許可の設置、メンテナンス、修理は、ユーザーに重大な危険をもたらす可能性があります。

ミーレは、許可されていない設置、メンテナンス、修理作業、不十分または不完全な接地工事によって引き起こされた損害やけが（感電など）に対して、責任を負いかねます。

本製品（IHクッキングヒーター）を電源に接続できるのは、資格のある電気技術者のみです。

電気技術者は、国内規制や現地の電気事業者によるその他の規制を熟知し、それを遵守する必要があります。

設置後は、すべての電気部品が遮蔽し、ユーザーがアクセスできないようにしてください。

定格消費電力

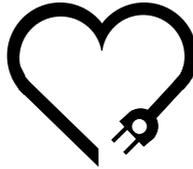
型式表示シール参照

接続データ

接続データについては、型式表示シールを参照してください。これらが屋内の主電源と一致することを確認してください。

漏電ブレーカー

本製品（IHクッキングヒーター）の安全性をさらに高めるために、漏電ブレーカーを設置してください。



愛情点検

長年ご使用の調理機器の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 電気コードや差し込みプラグが異常に熱くなる。
- 食品が加熱されないことがある。
- 加熱が止まらないことがある。
- 運転中に異常な音がする。
- 異常な臭いがしたり煙が出る。
- 機器に触るとビリビリと電気を感じることもある。
- その他の異常や故障がある。



●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

カスタマーサービス 0120-310-647 (フリーダイヤル)

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12 オリックス目黒ビル4階

www.miele.co.jp

CS 7612 FL

ja-JP

M.-Nr. 12 103 450 / 03